

# Cisco 4G LTE ソフトウェア構成ガイド

初版発行日:2012 年 3 月 16 日 最終更新日:2015年11月25日

この文書では、Sierra Wireless マルチモード モデム搭載 Cisco 第4世代(4G)Long-Term Evolution (LTE)ワイヤレス WAN(WWAN)拡張高速 WAN インターフェイス カード(EHWIC-4G-LTE)、Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR の概要を説明します。

シスコ EHWIC-4G-LTE は、Cisco Integrated Services Router Generation 2(ISR G2)でサポートされる、シングルワイド 4G ワイヤレス WAN(WWAN)EHWIC です。Cisco EHWIC-4G-LTE SKU、前面プレート、および LED の説明については、『Cisco 4G LTE Hardware Installation Guide』を参照してください。

# 機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームと ソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。このモジュールで説明 される機能に関する情報、および各機能がサポートされるリリースの一覧については、「Cisco 4G LTE の機能情報」セクション (99 ページ)を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を 検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、 http://www.cisco.com/go/cfn からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

# 目次

- Cisco 4G LTE の概要(2ページ)
- Cisco 4G LTE 設定の前提条件(23 ページ)
- Cisco 4G LTE 設定の制約事項(23 ページ)
- Cisco 4G-LTE の機能(23 ページ)



- Cisco 4G LTE の設定方法(30 ページ)
- 4G LTE の設定例(62 ページ)
- モデムのファームウェアのアップグレード(79ページ)
- SNMP MIB (92 ページ)
- トラブルシューティング(93ページ)
- その他の関連資料(97ページ)
- Cisco 4G LTE の機能情報(99 ページ)

## Cisco 4G LTE の概要

シスコ EHWIC-4G-LTE は、Cisco 1900 シリーズ、2900 シリーズ、および 3900 シリーズの Cisco Integrated Services Router Generation 2(ISR G2)ルータでサポートされる、シングルワイド ワイヤ レス WAN(WWAN) EHWIC です。Cisco EHWIC-4G-LTE は、第4世代 Long-Term Evolution (4G LTE)の携帯電話ネットワークや第3世代(3G)セルラーネットワークで動作します。Cisco 4G LTE WWAN EHWIC は、DSL やフレーム リレーに代わり、安全性が高くシンプルでコスト効率 の高い WAN を提供します。地上ブロードバンド サービス(ケーブル、DSL、T1)が利用できない 地域や、設備投資が高額となる地域では、4G LTE WWAN 接続が現実的な選択肢です。Cisco 4G LTE ワイヤレス WAN EHWIC は、Cisco ISR G2 ルータで利用可能な統合サービスを使用して、災 害時やサービス停止時でも迅速にモバイル通信を提供できます。

Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR、および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR もまた、統合 4G LTE ワイヤレス WAN をサポートします。

Cisco 4G LTE EHWIC および Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR は、次の 4G/3G モードをサポート します。

- 4G LTE:4G LTE モバイル仕様では、マルチメガビットの帯域幅、より効率的な無線ネット ワーク、遅延の減少、改善されたモビリティが提供されます。LTE ソリューションは新しい携 帯電話ネットワークを対象とします。これらのネットワークは、最初にダウンリンクで最大 100 Mb/s のピーク レートを、アップリンクで最大 50 Mb/s のピーク レートをサポートします。 これらのネットワークのスループットは既存の 3G ネットワークよりも大きくなります。
- 3G Evolution High-Speed Packet Access (HSPA/HSPA+): HSPA は UMTS ベースの 3G ネットワークです。これは、ダウンロードおよびアップロード速度の向上のため、High-Speed Downlink Packet Access (HSDPA)および High-Speed Uplink Packet Access (HSUPA)データをサポートします。Evolution High-Speed Packet Access (HSPA+)は、Multiple Input/Multiple Output (MIMO)アンテナ機能をサポートします。
- 3G Evolution-Data Optimized (EVDO または DOrA)モード: EVDO は、無線信号を介した データのワイヤレス伝送、特にブロードバンドインターネットアクセスの 3G 通信規格で す。DOrA は EVDO Rev-A を参照します。EVDO は、個々のユーザのスループットおよびシス テム全体のスループットの両方を最大化するために、符号分割多重接続 (CDMA) や時分割多 重アクセス (TDMA) などの多重化技術を使用します。

Γ

表 1 で、Cisco 4G WWAN EHWIC 製品 SKU について説明します。

Cisco 4G EHWIC	説明	モード	動作領域	周波数带域
EHWIC-4G-LTE-V	<ul> <li>EHWIC-4G-LTE-Vは、</li> <li>Verizon Wireless ネットワーク用の専用マルチモード</li> <li>LTE SKU であり、これらの</li> <li>技術と後方互換性があります。</li> <li>Evolved High-Rate Packet Data (EHRPD)</li> <li>単一キャリアの Evolution Data Optimized (1x EVDO) Revision A</li> </ul>	<ul> <li>LTE</li> <li>EVDO Revison A (DOrA)</li> </ul>	北米	<ul> <li>LTE:700 MHz(帯域 13)</li> <li>CDMA 1xRTT および 1xEVDO Revision A <ul> <li>800 MHz</li> <li>1900 MHz</li> </ul> </li> </ul>
	<ul> <li>単一キャリアの無線送 信テクノロジー(1xRTT)</li> </ul>			
EHWIC-4G-LTE-A	<ul> <li>EHWIC-4G-LTE-Aは、AT&amp;T</li> <li>Wireless ネットワーク用の</li> <li>専用マルチモード LTE SKU</li> <li>であり、これらの技術と後方</li> <li>互換性があります。</li> <li>ユニバーサル移動体通</li> <li>信システム(UMTS)</li> <li>高速パケットアクセス</li> <li>+(HSPA+)</li> <li>HSPA</li> <li>モバイル通信用グロー</li> <li>バルシステム(GSM)</li> <li>GSM 進化型交換データ</li> <li>レート(EDGE)</li> <li>汎用パケット無線サービス(GPRS)</li> </ul>	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	北米	LTE: • 700 MHz(帯域 17) • AWS(帯域 4) • 2100 MHz(帯域 1) UMTS、HSPA+、HSPA: • 800 MHz • 850 MHz • 1900 MHz • 2100 MHz GSM、EDGE、GPRS: • 850 MHz • 900 MHz • 1800 MHz • 1900 MHz

表 1 モード別、動作領域別、周波数別 Cisco 4G EHWIC

Cisco 4G EHWIC	説明	モード	動作領域	周波数帯域
EHWIC-4G-LTE-G	EHWIC-4G-LTE-G は、グ ローバル ワイヤレス ネット ワーク用の専用マルチモー ド LTE SKU であり、これら の技術と後方互換性があり ます。 • UMTS • HSPA+ • GSM • EDGE • GPRS	<ul> <li>LTE</li> <li>UMTS</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	グローバル	LTE: • 800 MHz(帯域 20) • 900 MHz(帯域 8) • 1800 MHz(帯域 3) • 2100 MHz(帯域 1) • 2600 MHz(帯域 7) UMTS/HSPA+/HSPA: • 900 MHz • 2100 MHz • 900 MHz • 1800 MHz • 1900 MHz
EHWIC-4G-LTE-JP	<ul> <li>EHWIC-4G-LTE-JPはNTT ドコモ専用のマルチモード LTE SKUで、Sierra Wireless 社製 MC7700 モデムがベー スになっています。</li> <li>EHWIC-4G-LTE-JPはこれらの技術と下位互換性があります。</li> <li>UMTS</li> <li>HSPA+</li> </ul>	<ul><li>LTE</li><li>UMTS</li><li>HSPA+</li></ul>	日本	LTE:2100 MHz(帯域 1) UMTS/HSPA+: • 2100 MHz(帯域 1) • 1900 MHz(帯域 2) • 850 MHz(帯域 5)
EHWIC-4G-LTE-BE	<ul> <li>EHWIC-4G-LTE-BE はカナ ダ専用マルチ モード LTE SKU で、Sierra Wireless 社製 MC7700 モデムがベースに なっています。</li> <li>EHWIC-4G-LTE-BE はこれ らの技術と下位互換性があ ります。</li> <li>UMTS</li> <li>HSPA+</li> </ul>	<ul><li>LTE</li><li>UMTS</li><li>HSPA+</li></ul>	カナダ	LTE: AWS 帯域 4 UMTS/HSPA+: • 2100 MHz(帯域 1) • 1900 MHz(帯域 2) • 850 MHz(帯域 5)

Γ

Cisco 4G EHWIC	説明	モード	動作領域	周波数帯域
EHWIC-4G-LTE-AU	EHWIC-4G-LTE-AUは、オー ストラリアおよびニュー ジーランドのワイヤレス ネットワーク用の専用マル チモード LTE SKU です。 EHWIC-4G-LTE-AU には Sierra Wireless MC7304 モデ ムが付属しています。	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	オーストラリアおよび ニュージーランド	LTE: <ul> <li>800 MHz(帯域 20)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1800 MHz(帯域 3)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> <li>2600 MHz(帯域 1)</li> <li>2600 MHz(帯域 7)</li> </ul> UMTS/HSPA+/HSPA: <ul> <li>800 MHz(帯域 6)</li> <li>850 MHz(帯域 5)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1900 MHz(帯域 2)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> </ul> GSM/EDGE/GPRS: <ul> <li>850 MHz</li> <li>900 MHz</li> <li>1800 MHz</li> <li>1900 MHz</li> </ul>
EHWIC-4G-LTE-ST	Sprint Wireless ネットワーク の専用マルチモード LTE SKU。これには、Sierra Wireless MC7350 モデムが付 属します。	<ul> <li>LTE</li> <li>EVDO Rev-A</li> <li>1xRTT</li> </ul>	北米(Sprint)	LTE: AWS(帯域4) PCS 1900 MHz(帯域25) 3G: 800 MHz(帯域クラス0) 1900 MHz(帯域クラス1) 800 MHz(帯域クラス10) 2G: 800 MHz(帯域クラス0) 1900 MHz(帯域クラス1) 800 MHz(帯域クラス10)

Cisco 4G EHWIC	説明	モード	動作領域	周波数帯域
EHWIC-4G-LTE-VZ	Verizon Wireless ネットワー クの専用マルチモード LTE SKU。これには、Sierra Wireless MC7350 モデムが付 属します。	<ul> <li>LTE</li> <li>EVDO Rev-A</li> <li>1xRTT</li> </ul>	北米(Verizon)	LTE: AWS(帯域4) 700 MHz(帯域13) PCS 1900 MHz(帯域25) 3G: 800 MHz(帯域クラス0) 1900 MHz(帯域クラス1) 800 MHz(帯域クラス10) 2G: 800 MHz(帯域クラス0) 1900 MHz(帯域クラス1) 800 MHz(帯域クラス10)
EHWIC-4G-LTE-CA	カナダのワイヤレス ネット ワークの専用マルチモード LTE SKU。これには、Sierra Wireless MC7354 モデムが付 属します。	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>GSM</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	カナダ	LTE: AWS(帯域 4) 700 MHz(帯域 5) 850 MHz(帯域 17) 1900 MHz(帯域 2) 2600 MHz(帯域 2) 2600 MHz(帯域 7) 3G(UMTS、HSPA+、HSPA): 1900 MHz(帯域 2) AWS(帯域 4) 850(帯域 5) 2G(GSM、EDGE、GPRS): 850 MHz 900 MHz 1800 MHz 1900 MHz

Γ

Cisco 4G EHWIC	説明	モード	動作領域	周波数带域
EHWIC-4G-LTE-AT	AT&T Wireless ネットワー クの専用マルチモード LTE SKU。これには、Sierra Wireless MC7354 モデムが付 属します。	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>GSM</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	北米(AT&T)	LTE: AWS(帯域 4) 700 MHz(帯域 5) 850 MHz(帯域 17) 1900 MHz(帯域 2) 2600 MHz(帯域 2) 2600 MHz(帯域 7) 3G(UMTS、HSPA+、HSPA): 1900 MHz(帯域 2) AWS(帯域 4) 850(帯域 5) 2G(GSM、EDGE、GPRS): 850 MHz 900 MHz 1800 MHz 1900 MHz
EHWIC-4G-LTE-GB	グローバル ワイヤレス ネッ トワークの専用マルチモー ド LTE SKU。これには、 Sierra Wireless MC7304 モデ ムが付属します。	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	グローバル (オーストラ リアおよび ニュージーラ ンドを除く)	LTE: <ul> <li>800 MHz(帯域 20)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1800 MHz(帯域 3)</li> <li>2100 MHz(帯域 3)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> <li>2600 MHz(帯域 7)</li> </ul> UMTS、HSPA+、HSPA: <ul> <li>800 MHz(帯域 6)</li> <li>850 MHz(帯域 5)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1900 MHz(帯域 2)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> </ul> GSM、EDGE、GPRS: <ul> <li>850 MHz</li> <li>900 MHz</li> <li>1800 MHz</li> <li>1800 MHz</li> <li>1900 MHz</li> </ul>

SKU ID	説明	モード	動作領域	周波数带域
C819HG-4G-V-K9	C819HG-4G-V-K9 は Verizon Wireless ネット ワーク専用のマルチ モード LTE SKU で、 Sierra Wireless 社製 MC7750 モデムが付属 します。 C819HG-4G-V-K9 は、強 化型 Cisco 819 シリーズ ルータです。	LTE:DOrA	北米	LTE:700 MHz(帯域 13) CDMA 1xRTT、1xEVDO Rev A: • 800 MHz • 1900 MHz
C819G-4G-V-K9	C819G-4G-V-K9 は Verizon Wireless ネット ワーク専用のマルチ モード LTE SKU で、 Sierra Wireless 社製 MC7750 モデムが付属 します。C819G-4G-V-K9 は、非強化型 Cisco 819 シリーズ ルータです。	LTE:DOrA	北米	LTE:700 MHz(帯域 13) CDMA 1xRTT、1xEVDO Rev A: • 800 MHz • 1900 MHz
C819HG-4G-A-K9	C819HG-4G-A-K9 は AT&T Wireless ネット ワーク専用のマルチ モード LTE SKU で、 Sierra Wireless 社製 MC7700 モデムが付属 します。 C819HG-4G-A-K9 は、強 化型 Cisco 819 シリーズ ルータです。	LTE:HSPA+/ HSPA/UMTS/ EDGE/GPRS	北米	LTE: • 700 MHz(帯域 17) • AWS(帯域 4) • 2100MHz(帯域 1) UMTS/HSPA+/HSPA: • 800 MHz • 850 MHz • 1900 MHz • 2100 MHz • 850 MHz • 900 MHz • 1800 MHz • 1900 MHz

表 2 に、Cisco 819HG および Cisco 819G ISR で利用可能なさまざまな 4G LTE SKU を示します。

ſ

SKU ID	説明	モード	動作領域	周波数带域
C819G-4G-A-K9	C819G-4G-A-K9 は AT&T Wireless ネット ワーク専用のマルチ モード LTE SKU で、 Sierra Wireless 社製 MC7700 モデムが付属 します。C819G-4G-A-K9 は、コンパクト非強化型 Cisco 819 シリーズ ルー タです。	LTE:HSPA+/ HSPA/UMTS/ EDGE/GPRS	北米	LTE: • 700 MHz(帯域 17) • AWS(帯域 4) • 2100MHz(帯域 1) UMTS/HSPA+/HSPA: • 800 MHz • 850 MHz • 1900 MHz • 2100 MHz GSM/EDGE/GPRS: • 850 MHz • 900 MHz • 1800 MHz • 1900 MHz
C819HG-4G-G-K9	C819HG-4G-G-K9 はグ ローバル ワイヤレス ネットワーク専用のマ ルチモード LTE SKU で、Sierra Wireless 社製 MC7710 モデムが付属 します。 C819HG-4G-G-K9 は、強 化型 Cisco 819 シリーズ ルータです。	LTE:HSPA+/ HSPA/UMTS/ EDGE/GPRS	グローバル	LTE: • 800 MHz(帯域 20) • 900 MHz(帯域 8) • 1800 MHz(帯域 3) • 2100MHz(帯域 1) • 2600 MHz(帯域 7) UMTS/HSPA+/HSPA: • 900 MHz • 2100 MHz GSM/EDGE/GPRS: • 900 MHz • 1800 MHz • 1900 MHz

#### 表 2 Cisco 819HG-4G および Cisco 819G-4G ISR でサポートされている 4G LTE SKU (続き)

表 2

SKU ID	説明	モード	動作領域	周波数带域
C819G-4G-G-K9	C819G-4G-G-K9 はグ ローバル ワイヤレス ネットワーク専用のマ ルチモード LTE SKU で、Sierra Wireless 社製 MC7710 モデムが付属 します。C819G-4G-G-K9 は、非強化型 Cisco 819 シリーズ ルータです。	LTE:HSPA+/ HSPA/UMTS/ EDGE/GPRS	グローバル	LTE: • 800 MHz(帯域 20) • 900 MHz(帯域 8) • 1800 MHz(帯域 3) • 2100MHz(帯域 1) • 2600 MHz(帯域 7) UMTS/HSPA+/HSPA: • 900 MHz • 2100 MHz • 1800 MHz • 1800 MHz • 1900 MHz
C819G-4G-GA-K9	C819G-4G-GA-K9 はグ ローバル ワイヤレス ネットワーク専用のマ ルチモード LTE SKU で、Sierra Wireless 社製 MC7304 モデムが付属 します。C819G-4G-G-K9 は、非強化型 Cisco 819 シリーズ ルータです。	LTE:HSPA+/ HSPA/UMTS/ EDGE/GPRS	グローバル (ヨーロッパ、 オーストラリ ア、および ニュージーラ ンド)	LTE: <ul> <li>800 MHz(帯域 20)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1800 MHz(帯域 3)</li> <li>2100MHz(帯域 1)</li> <li>2600 MHz(帯域 7)</li> </ul> <li>UMTS/HSPA+/HSPA: <ul> <li>800 MHz</li> <li>850 MHz</li> <li>1900 MHz</li> <li>2100 MHz</li> </ul> </li> <li>GSM/EDGE/GPRS: <ul> <li>850 MHz</li> <li>900 MHz</li> <li>1800 MHz</li> <li>1800 MHz</li> <li>1900 MHz</li> </ul> </li>

Γ

SKU ID	説明	モード	動作領域	周波数带域
C819G-4G-NA-K9	AT&T Wireless ネット ワークのマルチモード LTE 機能を備えた非強 化型 Cisco 819 ルータ。 これには、Sierra Wireless MC7354 モデム が付属します。	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	北米(AT&T、 Bell-Canada、 Roger、Telus、およ びその他の米国 とカナダの GSM/LTE 事業 者)	LTE: AWS(帯域 4) 700 MHz(帯域 5) 850 MHz(帯域 17) 1900 MHz(帯域 2) 2600 MHz(帯域 2) 2600 MHz(帯域 7) UMTS、HSPA+、HSPA: 1900 MHz(帯域 2) AWS(帯域 4) 850(帯域 5) GSM、EDGE、GPRS: 850 MHz 900 MHz 1800 MHz 1900 MHz
C819G-4G-ST-K9	Sprint Wireless ネット ワークのマルチモード LTE 機能を備えた非強 化型 Cisco 819 ルータ。 これには、Sierra Wireless MC7350 モデム が付属します。	<ul> <li>LTE</li> <li>EVDO Rev-A</li> <li>1xRTT</li> </ul>	北米(Sprint)	LTE: AWS(帯域4) 700 MHz(帯域13) PCS 1900 MHz(帯域25) 3G: 800 MHz(帯域クラス0) 1900 MHz(帯域クラス1) 800 MHz(帯域クラス10) 2G: 800 MHz(帯域クラス0) 1900 MHz(帯域クラス1) 800 MHz(帯域クラス10)

### 表 2 Cisco 819HG-4G および Cisco 819G-4G ISR でサポートされている 4G LTE SKU (続き)

SKU ID	説明	モード	動作領域	周波数带域
C819G-4G-VZ-K9	Verizon Wireless ネット ワークのマルチモード LTE 機能を備えた非強 化型 Cisco 819 ルータ。 これには、Sierra Wireless MC7350 モデム が付属します。	<ul> <li>LTE</li> <li>EVDO Rev-A</li> <li>1xRTT</li> </ul>	北米(Verizon)	LTE: AWS(帯域 4) 700 MHz(帯域 13) PCS 1900 MHz(帯域 25) 3G: 800 MHz(帯域クラス 0) 1900 MHz(帯域クラス 1) 800 MHz(帯域クラス 10) 2G: 800 MHz(帯域クラス 0) 1900 MHz(帯域クラス 1) 800 MHz(帯域クラス 10)

### 表 2 Cisco 819HG-4G および Cisco 819G-4G ISR でサポートされている 4G LTE SKU (続き)

表 2

Γ

SKU ID	説明	モード	動作領域	周波数带域
C819GW-LTE-MN A-AK9	<ul> <li>C819GW-LTE-MNA-AK</li> <li>9 は北米ワイヤレス</li> <li>ネットワーク専用のマ</li> <li>ルチモード LTE SKU</li> <li>で、Sierra Wireless 社製</li> <li>MC7354MNA モデムが</li> <li>付属します。</li> <li>C819GW-LTE-MNA-AK</li> <li>9 は、非強化型 Cisco 819</li> <li>シリーズルータです。</li> <li>3GPP 準拠の場合、この</li> <li>SKU の拡張温度範囲は</li> <li>-15 ~ 50C です。3GPP 非</li> <li>準拠の場合は -15 ~ 55C</li> <li>です。</li> <li>この SKU のデュアル</li> <li>SIM は、同じ地域内で共</li> <li>通の FW テクノロジー</li> <li>を使用して、LTE および</li> <li>HSPA ベースのネット</li> <li>ワークで高い信頼性と</li> <li>セルラーマルチホーミ</li> <li>ング機能を提供します。</li> <li>北米の SKU のデュアル</li> <li>SIM は、異なる FW テクノロジーを使用してス</li> <li>イッチオーバーを提供します。</li> <li>(注) これは 4G+ WIFI</li> <li>SKU です。この</li> <li>SKU は、</li> <li>MC7354MNA モデムを使用して、</li> <li>Verizon、ATT、</li> <li>Sprint、カナダな</li> <li>どすべての北米</li> <li>のキャリアをサ</li> <li>ポートします。</li> </ul>	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>EVDO Revison A (DOrA)</li> <li>CDMA</li> <li>EDGE/GPRS/G SM</li> </ul>	北米	LTE: 700 MHz(帯域 13) 700 MHz(帯域 17) 800 MHz(帯域 5) 1900 MHz(帯域 2) 1900 MHz(帯域 2) AWS 1700/2100 MHz(帯域 4) HSPA+: 850 MHz(帯域 5) 900 MHz(帯域 8) 1900 MHz(帯域 2) 2100 MHz(帯域 1) AWS 1700/2100 MHz(帯域 4) CDMA および EVDO Revision A: 800 MHz(帯域クラス 0) 1900 MHz(帯域クラス 10) EDGE/GPRS/GSM: 850 MHz 900 MHz 1800 MHz 1800 MHz

表 2

SKU ID	説明	モード	動作領域	周波数帯域
C819GW-LTE-GA- EK9	C819GW-LTE-GA-EK9 はグローバル ワイヤレ スネットワーク専用の マルチモード LTE SKU で、Sierra Wireless 社製 MC7304 モデムが付属 します。 C819GW-LTE-GA-EK9 は、非強化型 Cisco 819 シリーズ ルータです。 3GPP 準拠の場合、この SKU の拡張温度範囲は -15 ~ 50°C です。3GPP 非 準拠の場合は -15 ~ 55°C です。 この SKU のデュアル SIM は、同じ地域内で共 通の FW テクノロジー を使用して、LTE および HSPA ベースのネット ワークで高い信頼性と セルラーマルチホーミ ング機能を提供します。 FW テクノロジーを使用 してスイッチオーバー を提供します。 (注) これは、グローバ ルおよびオース トラリア市場向 けの 4G+ WIFI SKU です。	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>EDGE/GPRS/G SM</li> </ul>	グローバル(ヨー ロッパおよび オーストラリア)	LTE: • 800 MHz(帯域 20) • 900 MHz(帯域 8) • 1800 MHz(帯域 3) • 2100 MHz(帯域 1) • 2600 MHz(帯域 7) HSPA+: • 850 MHz(帯域 5) • 900 MHz(帯域 2) • 2100 MHz(帯域 1) EDGE/GPRS/GSM: • 850 MHz • 1800 MHz • 1800 MHz • 1900 MHz

表 2

Γ

SKU ID	説明	モード	動作領域	周波数带域
C819G-LTE-MNA- K9	C819G-LTE-MNA-K9 は         グローバル ワイヤレス         ネットワーク専用のマ         ルチモード LTE SKU         で、Sierra Wireless 社製         MC7354-MNA モデムが         付属します。         C819G-LTE-MNA-K9         は、非強化型 Cisco 819         シリーズ ルータです。         3GPP 準拠の場合、この         SKU の拡張温度範囲は         -15 ~ 50C です。3GPP 非         準拠の場合は -15 ~ 55C         です。         この SKU のデュアル         SIM は、同じ地域内で共通の FW テクノロジーを使用して、LTE および         HSPA ベースのネット         ワークで高い信頼性と         セルラーマルチホーミ         ング機能を提供します。         デュアル SIM は、異なる         FW テクノロジーを使用         してスイッチオーバー         を提供します。         (注) この SKU には         WiFi モジュール         はありません。	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>EDGE/GPRS/G SM</li> <li>CDMA</li> <li>EVDO</li> </ul>	グローバル(ヨー ロッパおよび オーストラリア)	LTE: • 850 Mhz(帯域 19) • 1500 Mhz(帯域 21) • 2100 Mhz(帯域 1) 3G(UMTS、HSPA+、HSPA): • 800 Mhz(帯域 6) • 850 Mhz(帯域 5) • 850 Mhz(帯域 19) • 2100 Mhz(帯域 1) 2G(GSM、EDGE、GPRS): • 850 Mhz • 900 Mhz • 1800 Mhz • 1900 Mhz

Cisco 819HG-4G および Cisco 819G-4G ISR でサポートされている 4G LTE SKU (続き)

SKU ID	モード	動作領域	周波数带域	説明
C881G-4G-GA-K9	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	グローバル (ヨーロッパ、 ニュージーラン ド、およびオー ストラリア)	LTE: • 800 MHz(帯域 20) • 900 MHz(帯域 8) • 1800 MHz(帯域 3) • 2100 MHz(帯域 3) • 2100 MHz(帯域 1) • 2600 MHz(帯域 7) 3G(UMTS、HSPA+、HSPA): • 800 MHz(帯域 6) • 850 MHz(帯域 5) • 900 MHz(帯域 2) • 2100 MHz(帯域 1) 2G(GSM、EDGE、GPRS): • 850 MHz • 1800 MHz	グローバル ワイヤレ ス ネットワーク用の マルチモード LTE 機 能を備えた Cisco 880 シリーズ ISR。 C881G-4G-GA-K9 に は Sierra Wireless MC7304 モデムが付 属しています。
C887VAG-4G-GA- K9	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	グローバル (ヨーロッパ、 ニュージーラン ド、およびオー ストラリア)	<ul> <li>1900 MHz</li> <li>1900 MHz</li> <li>LTE: <ul> <li>800 MHz(帯域 20)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1800 MHz(帯域 3)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> <li>2600 MHz(帯域 1)</li> <li>2600 MHz(帯域 7)</li> </ul> </li> <li>3G(UMTS、HSPA+、HSPA): <ul> <li>800 MHz(帯域 6)</li> <li>850 MHz(帯域 5)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1900 MHz(帯域 2)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> </ul> </li> <li>2G(GSM、EDGE、GPRS): <ul> <li>850 MHz</li> <li>900 MHz</li> <li>1800 MHz</li> </ul> </li> </ul>	グローバル ワイヤレ スネットワーク用の マルチモード LTE 機 能を備えた Cisco 880 シリーズ ISR。 C887VAG-4G-GA-K 9 には Sierra Wireless MC7304 モデムが付 属しています。

表 3 に Cisco 880 および Cisco 890 シリーズ ISR で使用できろさまざまな 4G LTE SKU を示します。

表 3

Γ

SKU ID	モード	動作領域	周波数带域	説明
C896VAG-LTE-GA- K9	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	グローバル (ヨーロッパ、 ニュージーラ ンド、および オーストラリ ア)	LTE: • 800 MHz(帯域 20) • 900 MHz(帯域 8) • 1800 MHz(帯域 3) • 2100 MHz(帯域 3) • 2100 MHz(帯域 1) • 2600 MHz(帯域 7) 3G(UMTS、HSPA+、HSPA): • 800 MHz(帯域 6) • 850 MHz(帯域 5) • 900 MHz(帯域 2) • 2100 MHz(帯域 1) 2G(GSM、EDGE、GPRS): • 850 MHz • 900 MHz • 1800 MHz	グローバル ワイヤレ ス ネットワーク用の マルチモード LTE 機 能を備えた Cisco 890 シリーズ ISR。 C896VAG-LTE-GA- K9 には Sierra Wireless MC7304 モ デムが付属していま す。
C897VAG-LTE-GA- K9	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	グローバル (ヨーロッパ、 ニュージーラン ド、およびオー ストラリア)	<ul> <li>1900 MHz</li> <li>LTE:</li> <li>800 MHz(帯域 20)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1800 MHz(帯域 3)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> <li>2600 MHz(帯域 7)</li> <li>3G(UMTS、HSPA+、HSPA):</li> <li>800 MHz(帯域 6)</li> <li>850 MHz(帯域 5)</li> <li>900 MHz(帯域 5)</li> <li>900 MHz(帯域 2)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> <li>2G(GSM、EDGE、GPRS):</li> <li>850 MHz</li> <li>900 MHz</li> <li>1800 MHz</li> <li>1800 MHz</li> <li>1900 MHz</li> </ul>	グローバル ワイヤレ ス ネットワーク用の マルチモード LTE 機 能を備えた Cisco 890 シリーズ ISR。 C897VAG-LTE-GA- K9 には Sierra Wireless MC7304 モ デムが付属していま す。

SKU ID	モード	動作領域	周波数带域	説明
C897VAMG-LTE- GA-K9	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	グローバル (ヨーロッパ、 ニュージーラン ド、およびオー ストラリア)	LTE: <ul> <li>800 MHz(帯域 20)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1800 MHz(帯域 3)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> <li>2600 MHz(帯域 7)</li> </ul> <li>3G(UMTS、HSPA+、HSPA): <ul> <li>800 MHz(帯域 6)</li> <li>850 MHz(帯域 5)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1900 MHz(帯域 2)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> </ul> </li> <li>2G(GSM、EDGE、GPRS): <ul> <li>850 MHz</li> <li>900 MHz</li> <li>1800 MHz</li> </ul> </li>	グローバル ワイヤレ スネットワーク用の マルチモード LTE 機 能を備えた Cisco 890 シリーズ ISR。 C897VAMG-LTE-GA- K9 には Sierra Wireless MC7304 モデムが付属 しています。
C898EAG-LTE-GA- K9	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	グローバル (ヨーロッパ、 ニュージーラン ド、およびオー ストラリア)	LTE: <ul> <li>800 MHz(帯域 20)</li> <li>900 MHz(帯域 8)</li> <li>1800 MHz(帯域 3)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> <li>2600 MHz(帯域 7)</li> </ul> <li>3G(UMTS、HSPA+、HSPA): <ul> <li>800 MHz(帯域 6)</li> <li>850 MHz(帯域 5)</li> <li>900 MHz(帯域 5)</li> <li>900 MHz(帯域 2)</li> <li>2100 MHz(帯域 1)</li> </ul> </li> <li>2G(GSM、EDGE、GPRS): <ul> <li>850 MHz</li> <li>900 MHz</li> <li>1800 MHz</li> <li>1900 MHz</li> </ul> </li>	グローバル ワイヤレ スネットワーク用の マルチモード LTE 機 能を備えた Cisco 890 シリーズ ISR。 C898EAG-LTE-GA- K9 には Sierra Wireless MC7304 モ デムが付属していま す。

Γ

SKU ID	モード	動作領域	周波数帯域	説明
C899G-LTE-GA-K	• LTE	グローバル	LTE:	グローバルワイヤレ
9	• HSPA+	(ヨーロッパ、	• 800 MHz(帯域 20)	スネットワーク用の フルチェード LTE 機
	• HSPA	ド、およびオー	• 900 MHz(帯域 8)	*ルノモートLIE 機 能を備えた Cisco 890
	• UMTS	ストラリア)	• 1800 MHz(帯域 3)	シリーズ ISR。
	• EDGE		• 2100 MHz(帯域 1)	には Sierra Wireless
	• GPRS		• 2600 MHz(帯域 7)	MC7304 モデムが付
			3G(UMTS, HSPA+, HSPA):	属しています。
			• 800 MHz(帯域 6)	
			• 850 MHz(帯域 5)	
			• 900 MHz(帯域 8)	
			• 1900 MHz(帯域 2)	
			• 2100 MHz(帯域 1)	
			2G(GSM、EDGE、GPRS):	
			• 850 MHz	
			• 900 MHz	
			• 1800 MHz	
			• 1900 MHz	
C899G-LTE-VZ-K9	• LTE	北米(Verizon)	LTE:	Verizon Wireless ネッ
	• EVDO Rev-A		• AWS(帯域 4)	トワーク用のマルチ エード I TF 機能を備
	• 1xRTT		• 700 MHz(帯域 13)	えた Cisco 890 シ
			• PCS 1900 MHz(帯域 25)	リーズ ISR。
			3G:	には Sierra Wireless
			• 800 MHz(帯域クラス 0)	MC7350 モデムが付
			• 1900 MHz(帯域クラス 1)	属しています。
			• 800 MHz(帯域クラス 10)	
			2G:	
			• 800 MHz(帯域クラス 0)	
			• 1900 MHz(帯域クラス 1)	
			• 800 MHz(帯域クラス 10)	

表 3

SKU ID	モード	動作領域	周波数帯域	説明
C899G-LTE-NA-K 9	<ul> <li>LTE</li> <li>HSPA+</li> <li>HSPA</li> <li>UMTS</li> <li>EDGE</li> <li>GPRS</li> </ul>	<b>助作領域</b> 北米(AT&T、 Bell-Canada、 Roger、Telus、お よびその他の 米国とカナダ のGSM/LTE事 業者)	周波数常域 LTE: AWS(帯域 4) 700 MHz(帯域 5) 850 MHz(帯域 5) 1900 MHz(帯域 17) 2600 MHz(帯域 2) 2600 MHz(帯域 7) 3G(UMTS、HSPA+、HSPA): 1900 MHz(帯域 2) AWS(帯域 4) 850(帯域 5) 2G(GSM、EDGE、GPRS): 850 MHz 900 MHz 1800 MHz	説明 米国およびカナダの ワイヤレスネット ワーク用のマルチ モードLTE機能を備 えたCisco 890 シ リーズ ISR。 C899G-LTE-NA-K9 にはSierra Wireless MC7354 モデムが付 属しています。
C899G-LTE-ST-K9	<ul> <li>LTE</li> <li>EVDO Rev-A</li> <li>1xRTT</li> </ul>	北米 (Sprint)	<ul> <li>1900 MHz</li> <li>LTE:</li> <li>AWS(帯域 4)</li> <li>700 MHz(帯域 13)</li> <li>PCS 1900 MHz(帯域 25)</li> <li>3G:</li> <li>800 MHz(帯域クラス 0)</li> <li>1900 MHz(帯域クラス 1)</li> <li>800 MHz(帯域クラス 10)</li> <li>2G:</li> <li>800 MHz(帯域クラス 1)</li> <li>1900 MHz(帯域クラス 1)</li> <li>800 MHz(帯域クラス 1)</li> <li>800 MHz(帯域クラス 1)</li> <li>800 MHz(帯域クラス 1)</li> </ul>	Sprint Wireless ネッ トワーク用のマルチ モード LTE 機能を備 えた Cisco 890 シ リーズ ISR。 C899G-LTE-ST-K9 には Sierra Wireless MC7350 モデムが付 属しています。

表 3

Γ

SKU ID	モード	動作領域	周波数帯域	説明
C899G-LTE-JP-K9	• LTE	グローバル	LTE:	グローバル ワイヤレ
	• HSPA+	(日本)	• 800 MHz(帯域 20)	スネットワーク用の マルチモード LTE 機
	• HSPA		• 850 MHz(帯域 19)	能を備えた Cisco 890
	• UMTS		• 900 MHz(帯域 8)	シリーズ ISR。
	• EDGE		• 1500 MHz(帯域 21)	は Sierra Wireless
	• GPRS		• 1800 MHz(帯域 3)	MC7330 モデムが付
			• 2100 MHz(帯域 1)	属しています。
			• 2600 MHz(帯域 7)	
			3G(UMTS,HSPA+,HSPA):	
			• 800 MHz(帯域 6)	
			• 850 MHz(帯域 5)	
			• 900 MHz(帯域 8)	
			• 1900 MHz(帯域 2)	
			• 2100 MHz(帯域 1)	
			2G(GSM,EDGE,GPRS):	
			• 850 MHz	
			• 900 MHz	
			• 1800 MHz	
			• 1900 MHz	

Cisco 880 および Cisco 890 シリーズ ISR でサポートされる 4G LTE SKU (続き)

図 1 で、4G LTE パケット コア ネットワーク アーキテクチャを説明します。



ゲート	Serving Gateway(SGW)は、ユーザ プレーンのモビリティ アンカーとしても機能す
ウェイ	る一方で、ユーザ データ パケットをルーティングおよび転送します。また、LTE お よび他の 3 GPP 技術間のモビリティ アンカーでもあります。Packet Data Network (PDN)ゲートウェイ (PGW)は、ユーザ機器(UE)のトラフィックが出入りするポイ ントになることによって、UE から外部パケット データ ネットワークへの接続を提 供します。
	UE は複数の PDN にアクセスするために複数の PGW との同時接続を持つ場合があ ります。PGW は、ポリシー施行、各ユーザへのパケット フィルタリング、課金サポー ト、合法的傍受、およびパケット スクリーニングを実行します。PGW のもう一つの 主な役割は、3GPP と非 3GPP 技術との間のモビリティ アンカーとして機能するこ とです。後者には、WiMAX や 3GPP2(CDMA 1X、EvDO)などがあります。
	System Architecture Evolution GW (SAE GW)は、Evolved Packet Core (EPC)内の PGW および SGW 機能を扱うエンティティです。
RNC	Radio Network Controller (RNC)は、接続先の Radio Access Network (RAN)の制御に 責任を持ちます。RNC は、無線リソース管理および一部のモビリティ管理機能を実 行し、ユーザ データがモバイルへまたはモバイルから送信される前に暗号化が実 行されるポイントです。RNC はメディア ゲートウェイ (MGW)を介して回線交換の コア ネットワークに接続します。
BTS	Base Transceiver Station <sub>o</sub>
BSC	Base Station Controller <sub>o</sub>
SGSN	Service GPRS Support Node <sub>o</sub>

4G LTE のパケット コア ネットワーク アーキテクチャ

# Cisco 4G LTE 設定の前提条件

- ルータが物理的に配置される 4G LTE のネットワーク カバレッジが必要です。サポートされ ている通信事業者の一覧については、次の製品のデータ シートを参照してください。
- ワイヤレスサービスプロバイダーのサービスプランに登録し、加入者認証モジュール (SIM)カードを取得する必要があります。
- 4G LTE ワイヤレス WAN EHWIC または Cisco 819 ルータを設定する前に SIM カードを取 り付ける必要があります。SIM カードの取り付け手順について詳しくは、データ コール用の SIM 設定(36ページ)を参照してください。
- GPS 機能を作動させるために、GPS 機能をサポートするスタンドアロン アンテナが設置されている必要があります。インストールに関する情報については、『Cisco 4G Indoor/Outdoor Active GPS Antenna (GPS-ACT-ANTM-SMA)』マニュアルを参照してください。
- GPS 座標を取得するには、GPS 機能と NMEA 機能の両方を設定する必要があります。

## Cisco 4G LTE 設定の制約事項

Cisco 4G LTE を設定する際は、次の制約事項および使用上のガイドラインにしたがってください。

- 現在、携帯電話ネットワークは、ユーザによるベアラーの確立だけをサポートします。
- ワイヤレス通信の共有特性により、発生するスループットは、使用しているネットワークで アクティブなユーザの数または輻輳状況によって、さまざまです。
- 携帯電話ネットワークは、有線ネットワークと比較して、より大きな遅延が発生します。遅延 レートは、テクノロジーおよび通信事業者に左右されます。ネットワークで輻輳が発生して いる場合、遅延がより大きくなる場合があります。遅延は信号条件に依存し、ネットワークで 輻輳が発生している場合、より大きくなる場合があります。
- 使用する通信事業者からのサービス規約の一部である制約事項。
- SMS:一度に受信者1人への最大160文字のテキストメッセージ1通だけがサポートされま す。大きなテキストは、送信される前に適切なサイズに自動的に切り詰められます。
- SNMP エージェントが実行されるルータでは、NMS およびエージェントが適切に動作する よう、Cisco IOS CLI を使用して、適切なアクセス コントロール(たとえば、SNMP サーバコ ミュニティなど)を設定する必要があります。
- SNMP SET 動作を実装する場合、認証/プライバシーを使用した SNMP V3 を設定すること を、強く推奨します。

# Cisco 4G-LTE の機能

Cisco 4G LTE WWAN EHWIC、Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR、 および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR は、次の主な機能をサポートします。

- グローバル ポジショニング システム(GPS)および National Marine Electronics Association (NMEA)ストリーミング。
- 4G ショート メッセージ サービス(SMS)
- 3G/4G Simple Network Management Protocol (SNMP) MIB
- プライマリおよびバックアップのリンク間の自動切り替えフェールオーバー

- MIP(Multichannel-interface-processor)プロファイル設定
- 音声によるリモートからのデータ コールバックの開始
- ショート メッセージ サービス(SMS)によるリモートからのデータ コールバックの開始
- 4G LTE を通じたファームウェアのリモート アップグレード
- 仮想診断モニタリング
- Mobile Equipment Personalization (MEP)のロックおよびロック解除機能
- SIM のロックおよびロック解除機能
- マルチ PDN コンテキスト
- QoS

## 4G GPS と NMEA

Cisco IOS Release 15.3(3)M 以降のリリースでは、地理的な場所の情報を提供する Global Positioning System (GPS)機能が、サポート対象の Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR および Cisco 4G LTE EHWIC でデフォルトでイネーブルになりました。Cisco C880 シリーズおよび Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR では、GPS もデフォルトでイネーブルになっています。

アクティブ GPS は SubMiniature version A (SMA) ポートでサポートされます。アクティブ GPS ア ンテナはスタンドアロン モードでのみサポートされます。アクティブ GPS アンテナには、適切 な信号レベルを GPS レシーバに提供しながら、同軸ケーブル損失を回避するのに十分なゲイン を可能にする、組み込みの低ノイズ増幅器が含まれます。アクティブ GPS アンテナの動作には、 GPS レシーバ SMA ポートからの電力が必要です。詳細については、「例: GPS アプリケーション のホスト サーバへの接続」セクション(25 ページ)を参照してください。

米国海洋電子機器協会 (NMEA) 規格では、GPS データを G EHWIC と Cisco 819 ISR のいずれか から仮想 COM ポートおよび TCP/IP イーサネット接続を介して、市販の GPS ベースのアプリ ケーションが動作する海洋向けデバイス (Windows ベースの PC など) にストリーミングします。

次の GPS および NMEA 機能が、Cisco 4G LTE EHWIC、Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR、および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR でサポートされています。

- GPS スタンドアロン モード(衛星ベースの GPS)。
- Cisco IOS CLI 表示座標。
- NMEA 形式 GPS データをエクスポート可能な仮想および物理シリアル ポート。
- ルータマップ位置を表示する外部アプリケーション。
- CISCO-WAN-3G-MIB 内のオブジェクトは GPS および NMEA 機能に対応。
- Cisco 4G LTE EHWIC は IP NMEA ストリーミング オプションにのみ対応。
- Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR、および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR は IP またはシリアル NMEA ストリーミング オプションのいずれかをサポートします。

<u>》</u> (注)

A-GPS モードはサポートされていません。

GPS アンテナのセットアップ手順については、『*Cisco 4G Indoor/Outdoor Active GPS Antenna* (*GPS-ACT-ANTM-SMA*)』マニュアルを参照してください。

### 例:GPS アプリケーションのホスト サーバへの接続

GPS アプリケーションをホストするリモート サーバに NMEA データをフィードできます。サー バは、イーサネット ケーブルを使用して、または LAN あるいは WAN ネットワーク経由でルー タに接続できます。アプリケーションでシリアル ポートをサポートしている場合、シリアル ポート エミュレーション プログラムを実行して、LAN または WAN 接続で仮想シリアル ポート を作成します。

(注)

Microsoft Streets & Trips は、Microsoft の Web サイトからダウンロードできる、ライセンス ソフトウェアです。

Cisco 819 ISR を IP 経由で Microsoft Streets & Trips が動作する PC に接続するには、次の手順を 実行します。

- **ステップ1** イーサネット ケーブルで PC とルータをつなげます。
- ステップ2 PC とルータで ping を実行できることを確認します。
- ステップ3 PC のシリアル ポート リダイレクタを起動します。
- ステップ 4 show line コマンドを特権 EXEC モードで実行して、ルータ上の NMEA ポートを検索します。
- **ステップ 5** ルータの NMEA ポートに接続する仮想シリアル ポートを作成します。
- ステップ 6 PC で Microsoft Streets & Trips を起動します。
- ステップ7 [GPS Menu] を選択します。
- ステップ8 [Start Tracking] をクリックします。
- ステップ9 ルータで show cellular gps コマンドの出力で位置フィックスを取得した場合、現在位置がグラフ に示され、マップ上のその地点を中心とする円で赤茶色のドット カーソルが表示されます。



ſ

位置フィックスをまだ取得していない場合、Microsoft アプリケーションはタイム アウトとなっ て切断されます。

## ショートメッセージサービス(SMS)機能

Cisco 4G LTE EHWIC、Cisco 819 シリーズ 4GLTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR、および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR は、SMS メッセージの受信、送信、アーカイブ、削除をサポート します。このサポートには、最大 25 通の受信テキスト表示機能、それ以上のメッセージのカスタ ムファイルロケーションへのアーカイブが含まれます。SMS は複数の通信事業者でサポートさ れています。Cisco 4G LTE EHWIC、Cisco 819 シリーズ 4GLTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR、および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR はまた、必要に応じて LTE SMS から 3G および 2G SMS テクノロジー に復元する機能を有しています。

Cisco 4G LTE ISR の背後にある送信側デバイスは、メッセージが受信者のルータに到達するま で、セルラー タワーを介して 4G セルラー リンク上で SMS テキスト メッセージを送信し、その 後受信者のルータが受信者のデバイス(携帯電話など)に通知します。受信デバイスは、送信側デ バイスに対する応答を返すために同じプロセスを使用します。図 2で、モバイル デバイスから発 信側デバイスへのフローについて説明します。SMS 送信が動作するために、エンド ユーザには テキスト対応デバイス、さらに任意でテキスト向けプランが必要です。エンド ユーザがテキスト 向けプランを使用していない場合、標準の SMS 料金がテキスト転送に適用されます。

SMS によるデータ コールバック機能を使用すれば、お客様は Cisco 4G LTE ISR にテキスト メッ セージを送信することでデータ接続をセットアップできます。この機能には、発信側番号を使用 したメッセージ スクリーニングが含まれ、これにより機能のセキュリティを高め、不正なコール バック要求を排除できます。

図 2 SMS ネットワーク



### SIM カードの使用

Cisco 4G LTE EHWIC、Cisco 819 シリーズ 4GLTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR、および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR には、サービス プロバイダーから提供されるアクティブな SIM カードが必要です。SIM カードは通常ロックが解除された状態で提供され、個人識別番号(PIN) なしで使用できるようになっています。SIM がアンロックされている場合、EHWIC に挿入して 承認コードなしで使用できます。

SIM は、初期状態でサービス プロバイダーによって定義される、PIN コード(4~8桁)によって ロックすることができます。PIN コードについては、サービス プロバイダーにお問い合わせくだ さい。

SIM ロック機能では、PIN コードによる SIM のロックと解除が実行でき、許可されたデバイスでのみ使用可能にすることができます。コンソールまたは ISR への Telnet/SSH 経由で Cisco IOS CLI を使用して、SIM のロックおよび解除処理を実行します。

SIM ロックが行われた後は、同じ PIN を使用して認証が実行されない限り、コールを開始できま せん。認証は、PIN の設定を通して Cisco IOS によって自動的に実行されます。自動 SIM 認証に対 するこの必須設定は、Cisco IOS CLI を使用してルータのスタートアップ コンフィギュレーショ ンの一部として行われます。

Cisco IOS 設定が行われると、ISR は LTE 接続を開始できます。ISR は、LTE 接続の前に、設定された PIN を使用して認証します。Cisco IOS PIN 設定が不足しているか、PIN が正しくない場合は、 SIM 認証は失敗し、接続は開始されません。

ロックされた SIM が別の ISR または別のデバイスに移動された場合、またはロックされた SIM が存在する EHWIC が同じ ISR 内の別の EHWIC スロットに移動された場合、ISR 設定を変更す る必要があります。設定は ISR EHWIC スロット番号に固有のセルラー コントローラに関連付け られます。これにより、SIM カードが承認されていないデバイスによっては使用されないことが 保証されます。または、単一の ISR 内に複数の LTE EHWIC がある場合は、各 LTE EHWIC/SIM に 適切な PIN が適用されることが保証されます。LTE 接続を正常に開始するには、新規デバイスまたは新規セルラー コントローラ スロットで、認証コマンドが (SIM のロックに使用する同じ PIN で) 定義されている必要があります。

次の手順を使用して SIM を設定します。

- PIN コードを使用した SIM カードのロックおよびアンロック(36ページ)
- SIM コンフィギュレーションのモデム プロファイルの適用(41 ページ)

注意

ſ

設定された後に、正しい PIN を使用することは非常に重要です。認証時またはロックされた SIM のロック解除試行時に、ロックされた SIM に対して誤った PIN が連続 3 回入力されると SIM カードはブロックされます。

PUK コードを使用してブロックされた SIM カードを解除できます。PUK コードについては、 サービス プロバイダーにお問い合わせください。

SIM のブロック解除を行うには、cellular <*slot*> lte sim unblock <*PUK code*> <*new PIN code*> コ マンドを使用します。

## データ アカウントのプロビジョニング

3G または 4G EHWIC にモデムをプロビジョニングするために、1 つ以上のモデム データ プロ ファイルを作成できます。1 つ以上(デュアル)SIM カードでサービス プロバイダーのアクティ ブワイヤレス アカウントがインストールされている必要があります。モデム データ プロファイ ルはモデム内に事前に設定されています。

モデムのサービス可用性と信号の強さを確認し、モデム データ プロファイルの作成、変更、削除 を実行するには、次のタスクが使用されます。

- モデム信号強度およびサービス可用性の確認(30ページ)
- モデム データ プロファイルの作成、変更、削除(31ページ)

### IP マルチメディア サブシステム プロファイル

IP マルチメディア サブシステム(IMS)プロファイルはセッションを確立し、モデム設定の一部 であって、モデムの NVRAM に格納されます。IMS ネットワークはアクセスに依存しない、標準 ベースの IP 接続サービスで、一般的なインターネット ベースのプロトコルを使用してエンド ユーザにさまざまなタイプのマルチメディア サービスを有効にします。詳細については、「モデ ム データ プロファイルの作成、変更、削除」セクション(31 ページ)を参照してください。

# **4G LTE LED**

表 4 に、4G LTE EHWIC および 819 ISR の LED の動作を示します。

表 4 4G LTE LED の説明

LED	色	説明
SYS	黄色	FPGA のダウンロードが完了しました。
	緑色(点滅)	ROMMON が稼働しています。
	緑色(点灯)	Cisco IOS が稼働しています。
	緑色(ブートアップ時に 4回点滅)	リセット ボタンがブートアップ中に押されました。
	消灯	電源投入後、FPGA がダウンロードされている場合 (ROMMON 時)。
ACT	緑色	FE スイッチ ポート、GE WAN ポート、3G セルラー インターフェイスおよびシリアル インターフェイ ス上のネットワーク アクティビティ。
	消灯	LAN に接続していません。
WWAN	緑色点灯 — オン	モジュールの電源が投入されていて、接続されてい るが、送受信していません。
	緑色(ゆっくりした点 滅) — 5 秒オン、200 ミ リ秒オフ	モジュールの電源が投入されていて、接続を検索しています。
	緑色(速く点滅)	モジュールは送信中または受信中です。
	— 400 ミリ秒オン、 100 ミリ秒オフ	
	緑色(点滅)	
	— 500 ミリ秒オン、 500 ミリ秒オフ	低電力モードのモジュール。モデム無線はオフです
	消灯	モジュールの電源が入っていません。
GPS - EHWIC	緑色(点灯)	GPS 座標を取得しました。
	消灯	GPS はディセーブル、GPS モードと NMEA 設定な しで GPS がイネーブル、または GPS 取得中です。
GPS - 819 ISR	緑色(点灯)	GPS 座標を取得しました。
	緑色(点滅)	GPS が取得中です。
	消灯	GPS はディセーブル、または GPS モードと NMEA 設定なしで GPS がイネーブルです。

ſ

LED	色	説明
RSSI	緑色(点灯)	信号 > - 60 dBm
		非常に強い信号
	緑色(3回点滅した後、長	信号 <= -60 ~ 74 dBm
	い一時停止)	強い信号
	緑色(2回点滅した後、長	信号 <= -75 ~ 89 dBm
	い一時停止)	適正な信号
	緑色(1回点滅した後、長	信号 <= -90 ~ 109 dBm
	い一時停止)	最低限の信号
	消灯	信号 <= -110 dBm
		使用不可能な信号
SIM	緑色/黄色(1回緑色点滅 した後、2回黄色点滅が 続く)	スロット0のSIMはアクティブで、スロット1のSIMはアクティブではありません。
	黄色/緑色(1回黄色点滅 した後、2回緑色点滅が 続く)	スロット1のSIMはアクティブで、スロット0のSIMはアクティブではありません。
	Off/緑色(2回緑色点滅 した後、一時停止)	スロット0に SIM がなく、スロット1に SIM があ ります。
	緑色/Off(ゆっくり1回 緑色点滅した後、一時 停止)	スロット0に SIM があり、スロット1に SIM があ りません。
	Off / Off	いずれかのスロットに SIM がありません。
3G/4G	緑色(1回点滅した後、一 時停止)	1xRTT、EGPRS、または GPRS サービスの場合。
	緑色(2回点滅した後、一 時停止)	EVDO、EVDO/1xRTT、または UMTS サービスの 場合。
	緑色(3回点滅した後、一 時停止)	EVDO/1xRTT RevA、HSPA、または HSUPA/HSDPA サービスの場合。
	緑色(4回点滅した後、一 時停止)	HSPA+サービスの場合。
	緑色(点灯)	4G/LTE サービスの場合。
	消灯	サービスなし。

表 4 4G LTE LED の説明 (続き)

Cisco C880 および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR での 4G LTE LED については、次のリンクを 参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/routers/access/800/hardware/installation/guide/800HIG/prodove rview.html#pgfId-1181416

# Cisco 4G LTE の設定方法

### 

(注) 4G EHWIC では、スロット 0、WIC 0、ポート 0 は、すべてのコマンドで 0/0/0 です。Cisco 800 シリーズ 4G LTE 固定プラットフォームでは、すべてのコマンドに対してスロット「0」を使用します。

- モデム信号強度およびサービス可用性の確認(30ページ)
- モデムデータプロファイルの作成、変更、削除(31ページ)
- マルチ PDN コンテキスト(35 ページ)
- コール履歴(35ページ)
- データ コール用の SIM 設定(36 ページ)
- データコールの設定(45ページ)

## モデム信号強度およびサービス可用性の確認

(注)

EHWIC の場合、unit 引数はルータ スロット、WIC スロット、およびポートをスラッシュで区切っ て指定します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、unit 引数はすべてのコマンドでス ロット「0」を指定します。

#### 手順の概要

- 1. show cellular *unit* network
- 2. show cellular unit radio
- 3. show cellular *unit* profile
- 4. show cellular unit security
- 5. show cellular unit all

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	show cellular unit network	通信事業者ネットワーク、セル サイト、および使用可能 なサービスに関する情報を表示します。
	例: Device# show cellular 0/0/0 network	
ステップ 2	show cellular unit radio	無線信号の強さを示します。
	例: Device# show cellular 0/0/0 radio	(注) 安定した信頼性の高い接続には、RSSIが-90dBm を超える必要があります。
ステップ 3	show cellular unit profile	作成されたモデム データ プロファイルに関する情報を 示します。
	例: Device# show cellular 0/0/0 profile	

目ナフトナ
99243
の強さ、ネッ つな情報を示
J

## モデムデータプロファイルの作成、変更、削除

Cisco 4G LTE EHWIC、Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR で、複数プロファイルを作成できます。一部のモデムのデフォ ルトのインターネット プロファイル番号は次のとおりです。

- MC7700 プロファイル1
- MC7710 プロファイル1
- MC7750 プロファイル3
- MC7304 プロファイル1
- MC7350 プロファイル3
- MC7354 プロファイル1

各SKUでサポートされるモデムの詳細については、表 1、表 2、および表 3を参照してください。

### データプロファイルの作成、変更、削除に関する使用上のガイドライン

データプロファイルの設定では、次のガイドラインにしたがってください。

- モデムにデータプロファイルが付属している場合(AT&T、Sprint、Verizon など)、通常はプロファイル関連の変更は不要です。
- 接続タイプ用にプロファイルパラメータの変更が必要な場合は、原則として、デフォルトプロファイル内で変更を実施します。
- プロファイルタイプを別々に設定し、それぞれ異なる接続で使用したい場合は、APN名などのパラメータを変えることで、別々のプロファイルを作成することが可能です。なお、一度にアクティブにできるプロファイルは1つだけであることに注意してください。
- データプロファイルを表示するには、show cellular <> profile コマンドを使用します。データ プロファイルには、アスタリスク(\*)が表示されます。
- データプロファイルはデータコールの設定に使用されます。別のプロファイルを使用した い場合、そのプロファイルをデフォルトにする必要があります。デフォルトプロファイルを 変更するには、Ite sim data-profile number コマンドを使用します。
- 3GPP および 3GPP2 の設定済みプロファイルを確認するには、debug cellular <0/x/0> message profile コマンドを有効にし、show cellular 0 profile コマンドを入力します。このデ バッグ コマンドは、MC7750 および MC7350 モデムを備えた 4G LTE SKU で適用可能です。

(注)

MC7750(EHWIC-LTE-4G-V および C819-LTE-4G-V)を使用している場合、*ims* プロファイル(プロファイル 1、show コマンド内で\*\*で表示される)の変更は避けるようにしてください。一般的には、APNの更新用に、プロファイル 3 を変更する必要があります。



EHWIC の場合、*unit* 引数はルータ スロット、WIC スロット、およびポートをスラッシュで区切っ て指定します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、*unit* 引数はすべてのコマンドでス ロット「0」を指定します。

#### 手順の概要

**1. cellular** *unit* **lte profile** [**create** | **delete**] *profile-number* [*apn* [*authentication* [*username password* [*bearer-type*]]]]

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	cellular unit lte profile [create   delete] profile-number [app	特権 EXEC モードでモデム データ プロファイルを作成、変更、または削除します。
	[authentication [username password [bearer-type]]]]	<ul> <li>profile-number 引数には、モデム用に作成されたプロファイル番号を 指定します。各モデムに作成できるプロファイルの最大数は次のと おりです。</li> </ul>
	例: Device# cellular 0/0/0 lte profile create 2 apn.com pap username pwd ipv4	- MC7700 - 最大 16 プロファイル
		- MC7710 - 最大 16 プロファイル
		- MC7750-最大6プロファイル
		- MC7304 - 最大 16 プロファイル
		- MC7350 - 最大 6 プロファイル
		- MC7354 - 最大 16 プロファイル
		<ul> <li>(任意) apn 引数は、プロファイル内のアクセスポイント名(APN)を 指定します。APN はサービスプロバイダーによって提供されます。1 つのプロファイルには、1つの APN だけを指定できます。</li> </ul>
		<ul> <li>(任意)authentication パラメータは、使用する認証タイプを指定します。許容可能なパラメータは chap、none(認証なし)、pap、および pap_chap(PAP または CHAP 認証)です。</li> </ul>
		<ul> <li>(任意)username および password 引数は、サービス プロバイダーが 指定します。</li> </ul>
		<ul> <li>(任意)bearer-type パラメータは、このプロファイルでパケットデー タ セッションが確立されたときに、エアーリンクを介して交換され るデータ ペイロードの種類を指定します。許容可能なデータ タイ プ パラメータは、ipv4、ipv6、および ipv4v6(IPv4 および IPv6)です。</li> </ul>
		(注) このコマンドを入力すると、3GPP と 3GPP2 プロファイルの両方 が、MC7750 および MC7350 モデムと同じパラメータを使用して 作成または変更されます。
		(注) それぞれのモデム SKU のデフォルトのデータ プロファイル番号 は、次のとおりです。
		- MC7700、MC7710、MC7354、MC7304 - プロファイル 1
		- MC7750、MC7350 - プロファイル 3
		デフォルトプロファイルは、show cellular unit profile コマンドを使用 すると、アスタリスク(*)で表示されます。

### 設定例

ſ

### 次に、EHWIC-4G-LTE-A でデフォルトプロファイルを変更する例を示します。

```
router(config-controller)# lte sim data-profile 2 attach-profile 1
router(config-controller)# end
router#
router# sh run
Building configuration...
controller Cellular 0/1
lte sim profile 2
router# ping 8.8.4.4 rep 10
Type escape sequence to abort.
Sending 10, 100-byte ICMP Echos to 8.8.4.4, timeout is 2 seconds:
!!!!!!!!!!
Success rate is 100 percent (10/10), round-trip min/avg/max = 284/364/600 ms
router#
```

次に、show cellular コマンドの出力例を示します。

次に、デバッグ コマンドを実行する前の show cellular コマンドの出力例を示します。

```
router# show cellular 0/0/0 profile
Profile 1 = INACTIVE **
_____
PDP Type = IPv6
Access Point Name (APN) = vzwims
Profile 2 = INACTIVE
_____
PDP Type = IPv4v6
Access Point Name (APN) = vzwadmin
Profile 3 = ACTIVE*
_____
PDP Type = IPv4v6
PDP address = 10.187.130.3
Access Point Name (APN) = VZWINTERNET
       Primary DNS address = 198.224.173.135
       Secondary DNS address = 198.224.174.135
Profile 4 = INACTIVE
PDP Type = IPv4v6
Access Point Name (APN) = vzwapp
  * - Default profile
                       /* Note
 ** - LTE attach profile /* note
```

次に、デバッグ コマンドを実行した後の show cellular コマンドの出力例を示します。 router# debug cellular 0/0/0 messages profile PROFILE\_3GPP2 debugging is on router# router #show cellular 0/0/0 profile Profile 1 = INACTIVE \*\* \_\_\_\_\_ PDP Type = IPv6 Access Point Name (APN) = vzwims Profile 2 = INACTIVE \_ \_ \_ \_ \_ \_ \_ \_ \_ PDP Type = IPv4v6Access Point Name (APN) = vzwadmin Profile 3 = ACTIVE\* \_\_\_\_\_ PDP Type = IPv4v6 PDP address = 10.187.130.3 Access Point Name (APN) = VZWINTERNET Primary DNS address = 198.224.173.135 Secondary DNS address = 198.224.174.135 Profile 4 = INACTIVE \_\_\_\_\_ PDP Type = IPv4v6 Access Point Name (APN) = vzwapp 3GPP2 Profiles: ================== Profile 1 = INACTIVE \_\_\_\_\_ PDN Type = IPv6 Access Point Name (APN) = vzwims Profile 2 = INACTIVE \_\_\_\_\_ PDN Type = IPv4v6Access Point Name (APN) = vzwadmin Profile 3 = INACTIVE\* \_\_\_\_\_ PDN Type = IPv4v6 Access Point Name (APN) = VZWINTERNET Profile 4 = INACTIVE \_\_\_\_\_ PDN Type = IPv4v6 Access Point Name (APN) = vzwapp Profile 5 = INACTIVE \_\_\_\_\_ PDN Type = IPv4v6 Access Point Name (APN) = Profile 6 = INACTIVE \_\_\_\_\_ PDN Type = IPv4v6 Access Point Name (APN) = \* - Default profile \*\* - LTE attach profile

## マルチ PDN コンテキスト

この機能は、ルータが複数(現行 2 つ)のパケット データ ネットワークに接続することを可能と します。これにより、ユーザは各 PDN ごとにそれぞれ別々の機能を有効とすることができます。 たとえば、1 番目の PDN をパブリック インターネット接続向けに使用し、2 番目の PDN を VPN 接続向けに使用することができます。各 PDN には、IP アドレスと QoS 特性を個別に保持させる ことができます。

ルータの初期化の際に、2つの PDN に対応する 2つのセルラー インターフェイスが作成されます。

- EHWIC 上の cellular 0/x/0 および cellular 0/x/1
- C8xx 上の cellular 0 および cellular 1

これらのインターフェイスは、同じ無線リソースを使用して、2つの論理インターフェイスとして表示できます。

(注)

この機能はグローバル、オーストラリア、カナダ、および AT&T SKU でサポートされます。この 機能は Sprint および Verizon SKU ではサポートされません。

(注)

) これ以降、EHWIC 上のインターフェイス cellular 0/x/0 および C8xx 上の cellular 0 を 1 番目の PDN と呼び、EHWIC 上の cellular 0/x/1 および C8xx 上の cellular 1 を 2 番目の PDN と呼びます。

2 つの PDN を用意する上で、まず最初の手順として、同時に 2 つのデータ コールを発信するため の設定を、セルラー インターフェイスと関連する回線の両方に適用します。

次に、データ ベアラーのプロファイルを、対応するセルラー インターフェイスまたは PDN に関 連付けます。この設定は、コントローラ セルラー コンフィギュレーションで、1 番目の PDN にプ ロファイルを関連付けるだけです。2 番目の PDN のプロファイルは、1 番目の PDN に使用される プロファイルの1 つ上のプロファイルとなりますので、注意してください。たとえば、1 番目の PDN がプロファイル 1 を使用する場合、2 番目の PDN にコールが開始されると、2 番目の PDN は自動的にプロファイル 2 を使用します。

対象トラフィックがこれらのセルラーインターフェイスを介してルーティングされた後、デー タコールが開始され、各インターフェイスには、携帯電話ネットワークによりそれぞれ個別の IP アドレスと DNS アドレスが割り当てられます。なお、両 PDN が無線リソースを共有する点に注 意してください。つまり、スループットを測定する際には、どちらか片方ではなく、両方の PDN の合計のスループットを考慮する必要があります。

設定例については、「例:マルチ PDN の設定」セクション(73 ページ)を参照してください。

### コール履歴

ſ

通話履歴には、最後の3つの着信履歴が保持されます。次の詳細が通話履歴に記録されます。

- Tx/Rx バイト
- コールが切断する理由
- コールの継続時間
- 何によってコールが切断されたか(ユーザ、モデム、またはネットワーク)

通話履歴を表示するには、show cellular unit connection history コマンドを使用します。この機能は、使用するモデムファームウェアおよび SDK との依存関係があることに注意してください。

```
次に、コール接続がアップの場合のコマンドの出力例を示します。
c1921-mc7304#show cell 0/1/0 connection call-history
Start Time
                            Stop Time
                                                       Duration
Fri Nov 7 10:30:11 2014
                           Fri Nov 7 10:31:28 2014
                                                       77 seconds
Call disconnect reason
Call end mode =
Session disconnect reason type = (0)
Session disconnect reason = (0)
Fri Nov 7 10:33:20 2014
                           ongoing
次に、コール接続がダウンの場合のコマンドの出力例を示します。
1921-mc7304#show cell 0/1/0 connection call-history
Start Time
                           Stop Time
                                                       Duration
Fri Nov 7 10:30:11 2014
                           Fri Nov 7 10:31:28 2014
                                                       77 seconds
Call disconnect reason
Call end mode =
Session disconnect reason type = (0)
Session disconnect reason = (0)
Fri Nov 7 10:33:20 2014
                          Fri Nov 7 10:36:14 2014
                                                       174 seconds
Call disconnect reason
Call end mode =
Session disconnect reason type = (0)
Session disconnect reason = (0)
```

## データ コール用の SIM 設定

- PIN コードを使用した SIM カードのロックおよびアンロック(36ページ)
- PIN コードの変更(37 ページ)
- モデムのセキュリティ情報の確認(37ページ)
- ロックされた SIM の自動認証の設定(38ページ)
- SIM の暗号化ピンの設定(39 ページ)
- SIM コンフィギュレーションのモデム プロファイルの適用(41 ページ)
- デュアル SIM の設定(42ページ)

### PIN コードを使用した SIM カードのロックおよびアンロック

サービス プロバイダーから提供された SIM カードをロックまたはロック解除するには、この作業を実行します。

注意 誤った PIN が連続して3回入力されると SIM カードはブロックされます。SIM に設定されている正しい PIN を必ず入力してください。SIM カードがブロックされた場合、PUK コードのサービスプロバイダーにお問い合わせください。PUK コードを使用することで、SIM カードのブロックが解除できます。
(注)

EHWIC の場合、*unit* 引数はルータ スロット、WIC スロット、およびポートをスラッシュで区切っ て指定します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、*unit* 引数はすべてのコマンドでス ロット「0」を指定します。

#### 手順の概要

**1.** cellular *unit* lte sim {lock | unlock} *pin* 

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<pre>cellular unit lte sim {lock   unlock} pin</pre>	PIN コードを使用して、SIM カードをロックま たはアンロックします。
	例: Device# cellular 0/0/0 lte sim lock 1111	<ul> <li><i>pin</i>-SIM カードをロックまたはロック解除 するために通信事業者から提供されるコー ド(4~8文字)。</li> </ul>

## PIN コードの変更

SIM の PIN コードを変更するには、次のタスクを実行します。

(注)

EHWIC の場合、*unit* 引数はルータスロット、WIC スロット、およびポートをスラッシュで区切って指定します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、*unit* 引数はすべてのコマンドでスロット「0」を指定します。

#### 手順の概要

1. cellular unit lte sim change-pin pin new-pin

#### 手順の詳細

ſ

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	cellular unit lte sim change-pin pin new-pin 例:	割り当てられた PIN コードを変更します。PIN の変更中は、SIM がロック状態である必要があ ります。
	Device# cellular 0/0/0 lte sim change-pin 1111 1234	

# モデムのセキュリティ情報の確認

モデムのセキュリティ情報を確認するには、次のタスクを実行します。

(注)

EHWIC の場合、*unit* 引数はルータ スロット、WIC スロット、およびポートをスラッシュで区切っ て指定します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、*unit* 引数はすべてのコマンドでス ロット「0」を指定します。

#### 手順の概要

1. show cellular *unit* security

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	show cellular unit security	SIM のロック状態を含むモデムのセキュリティ 情報を示します。
	例: Device# show cellular 0/0/0 security	

## ロックされた SIM の自動認証の設定

暗号化されていない PIN を設定して、モデムを認証する Card Holder Verification (CHV1) コード をアクティベートすることができます。

∕!∖ 注意

誤った PIN が連続して 3 回入力されると SIM カードはブロックされます。SIM に設定されている正しい PIN を必ず入力してください。SIM カードがブロックされた場合、PUK コードのサービス プロバイダーにお問い合わせください。



(注) CHV1を設定するために暗号化されないレベル 0 の PIN を使用する場合は次の手順にしたがってください。暗号化されたレベル 7 の PIN を使用して CHV1を設定する方法については、「SIM の暗号化ピンの設定」セクション (39 ページ)を参照してください。

۵,

(注) SIM 認証が機能するには、SIM がロックされている必要があります。SIM ステータスを確認する には、show cellular *unit* security コマンドを使用します。

٩, (注)

EHWIC の場合、*unit* 引数はルータ スロット、WIC スロット、およびポートをスラッシュで区切っ て指定します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、*unit* 引数はすべてのコマンドでス ロット「0」を指定します。

#### 手順の概要

- 1. configure terminal
- 2. controller cellular unit
- 3. Ite sim authenticate 0 pin または Ite sim authenticate 0 pin slot {0 | 1}

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開 始します。
	例: Device# configure terminal	
ステップ <b>2</b>	controller cellular unit	セルラー コントローラ コンフィギュレーション モードを開始します。
	例: Device(config)# controller cellular 0/0	
ステップ 3	デュアル SIM 機能をサポートしない Cisco 4G EHWIC の場合 :	SIM CHV1 コードを非暗号化(0) キーワードと PIN を使用して認証します。この PIN は、各後続の
	<b>Ite sim authenticate 0</b> <i>pin</i> デュアル SIM 機能を備えた Cisco 800 シリーズ 4G	LTE 接続で認証するためにモデムに送信されま す。設定された PIN に基づいて認証が成功する場 合、データ コールが許可されます。認証に失敗し
	LTE ISR の場合:	た場合、モデムはデータ コールを開始しません。
	<pre>lte sim authenticate 0 pin slot {0   1} Ø(): Device(config-controller)# lte sim authenticate 0 1111</pre>	<ul> <li>(注) このコマンドは、非暗号化 PIN が使用されている場合にのみ有効です。暗号化されたPIN を使用して CHV1 コードを設定するには、「SIM の暗号化ピンの設定」セクション(39ページ)を参照してください。</li> </ul>
		(注) slot キーワードとそのオプションは、デュ アル SIM 機能対応の Cisco 800 Series 4G LTE ISR だけでサポートされます。

# SIMの暗号化ピンの設定

暗号化された PIN を設定するには、PIN のスクランブル値を取得する必要があります。スクラン ブル レベル 7 の PIN を取得し、この暗号化 PIN を使用して検証のために SIM CHV1 コードを設 定するには、EXEC モードで次のコマンドを入力します。

(注) SIM の暗号化ピンを取得すると、パスワード暗号化を設定し、ユーザ名と関連パスワードを決定し、スクランブルがかかったパスワードをコピーし、スクランブルがかかったパスワードを SIM 認証コマンドで使用することによって、ユーザ名とパスワードが作成されます。スクランブル PIN が取得され、SIM 認証で使用されると、作成されたユーザ名を Cisco IOS コンフィギュレーションから削除することができます。

(注) SIM 認証が機能するには、SIM がロックされている必要があります。SIM ステータスを確認する には、show cellular *unit* security コマンドを使用します。

(注)

ſ

EHWIC の場合、*unit* 引数はルータ スロット、WIC スロット、およびポートをスラッシュで区切っ て指定します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、*unit* 引数はすべてのコマンドでス ロット「0」を指定します。

## 手順の概要

- 1. configure terminal
- 2. service password-encryption
- 3. username name privilege 0 password pin
- 4. do show run | i name
- 5. controller cellular unit
- 6. Ite sim authenticate {0 | 7} pin または Ite sim authenticate {0 | 7} pin slot {0 | 1}
- 7. exit
- 8. no username name
- 9. no service password-encryption

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開 始します。
	例: Device# configure terminal	
ステップ 2	service password-encryption	パスワードの暗号化をイネーブルにします。
	例: Device(config)# service password-encryption	
ステップ 3	username name privilege 0 password pin	ユーザ名とパスワードを作成します。
	例: Device(config)# username SIM privilege 0 password 1111	<ul> <li>name:ユーザ名を指定します。</li> <li>pin:4~8桁の PIN コードを指定します。</li> </ul>
ステップ 4	do show run   i name 例: Device(config)# do show run   i SIM	ステップ 3 で作成されたユーザ名に対する暗号 化されたレベル 7 の PIN を含むユーザ名設定行 を表示します(例で示されるユーザ「SIM」)。 ステップ 6で(PIN として)使用するためにスクラ ンブル パスワードをコピーします。
ステップ 5	controller cellular unit	セルラー コントローラ コンフィギュレーション モードを開始します。
	<b>灼:</b> Device(config)# controller cellular 0/0	

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	Cisco 4G LTE WWAN EHWIC の場合: Ite sim authenticate {0   7} pin デュアル SIM 機能をサポートする Cisco 819(H)G-4G-G ISR の場合: Ite sim authenticate {0   7} pin slot {0   1}	暗号化されたキーワード <b>7</b> および ステップ 4 で スクランブルされた PIN を使用して SIM CHV1 を認証します。この PIN は、各後続の LTE 接続で 認証するためにモデムに送信されます。設定され た PIN に基づいて認証が成功する場合、データ コールが許可されます。認証に失敗した場合、モ デムはデータ コールを開始しません。
	例: Device(config-controller)# lte sim authenticate 7 055A575E70	<ul> <li>▲</li> <li>(注) slot キーワードとそのオプションは、デュ アル SIM 機能対応の Cisco 800 Series 4G LTE ISR だけでサポートされます。</li> </ul>
ステップ 7	exit 例: Device(config-controller)# exit	(任意)セルラー コントローラ コンフィギュレー ション モードを終了します。
 ステップ 8	no username name 例: Device(config)# no username SIM	(任意)ステップ 3 で作成されたユーザ名とパス ワードを削除します。
ステップ <b>9</b>	no service password-encryption 例: Device(config)# no service password-encryption	(任意)パスワード暗号化を無効化します。

# SIM コンフィギュレーションのモデム プロファイルの適用

手順の概要

ſ

- 1. configure terminal
- 2. controller cellular *unit*
- 3. Ite sim data-profile *number* attach-profile *number*

または

Ite sim data-profile number attach-profile number slot  $\{0 \mid 1\}$ 

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開
		始します。
	例:	
	Device# configure terminal	
ステップ 2	<b>controller cellular</b> <i>unit</i>	セルラー コントローラ コンフィギュレーション モードを開始します。
	例:	
	<pre>Device(config)# controller cellular 0/0</pre>	
ステップ 3	デュアル SIM 機能をサポートしない Cisco 4G EHWIC の場合:	(すべての MC77xx モデム)設定されたプロファ イル番号を SIM とそのスロット番号に適用しま
	lte sim data-profile number attach-profile number	す。デフォルト(プライマリ)スロットは0です。
	デュアル SIM 機能を備えた Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合:	attach profile は、LTE ネットワークに接続するモ デムで使用されるプロファイルです。
	<pre>lte sim profile number attach-profile number slot {0   1}</pre>	data profile は、携帯電話ネットワークでデータの送受信に使用するプロファイルです。
	例: Device(config-controller)# lte sim data-profile 2 attach-profile 1 slot 0 Device(config-controller)# lte sim data-profile 3 attach-profile 1 slot 1	(注) slot キーワードとそのオプションは、デュ アル SIM 機能対応の Cisco 800 Series 4G LTE ISR だけでサポートされます。

# デュアル SIM の設定

デュアル SIM 機能では、アクティブな SIM がネットワークへの接続を失った場合に、フェール オーバー メカニズムが提供されます。

(注)

:) デュアル SIM がサポートされるのは、Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR および Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR のみです。モジュラ型の ISR では複数の 4G EHWIC を搭載することができますが、EHWIC ではデュアル SIM はサポートされません。

## デュアル SIM の設定に関する使用上のガイドライン

デュアル SIM の設定では、次のガイドラインに従ってください。

- デフォルトでは、SIM スロット0がプライマリスロットで、スロット1がバックアップとなります。
- プライマリ SIM スロットを変更するには、セルラー コントローラ コンフィギュレーション モードで Ite sim primary コマンドを使用します。
- Ite sim data-profile コマンドを使用して、各 SIM にプロファイルを割り当てます。各 SIM に は、データ プロファイルとアタッチ プロファイルが関連付けられています。
- **Ite sim data-profile** コマンド内では、*profile-number* が SIM に関連付けられたデータ プロファイ ルを意味します。*attach-profile-number* は、SIM に関連するアタッチ プロファイルです。

 アタッチ プロファイルの詳細が通信事業者から提供されていない、もしくは通信事業者との関連がない場合は、データ プロファイルと同じ番号を割り当てることができます。それ以外の場合、通信事業者固有のアタッチ プロファイル パラメータを使用してプロファイルを 作成し、Ite sim data-profile コマンドを使用してプロファイル番号を割り当てます。

#### 手順の概要

- 1. configure terminal
- 2. controller cellular unit
- 3. Ite sim primary slot
- 4. Ite sim max-retry *number*
- **5.** Ite sim authenticate **[0 | 7]** *pin* slot **{0 | 1}**
- 6. Ite failover timeout-period
- 7. Ite sim data-profile *number* attach-profile *number* slot {0 | 1}

#### 手順の詳細

Γ

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを 開始します。
	例: Device# configure terminal	
ステップ <b>2</b>	controller cellular unit	セルラー コントローラ コンフィギュレーショ ン モードを開始します。
	例: Device(config)# controller cellular 0/0	
ステップ 3	lte sim primary slot	(任意)プライマリ SIM スロット番号として、0 または1を入力します。
	例: Device(config-controller)# lte sim primary 1	
ステップ 4	lte sim max-retry number	(任意)フェールオーバー再試行の最大数を1~ 65535 で指定します。デフォルト値は10です。
	例: Device(config-controller)# lte sim max-retry 20	
ステップ 5	<b>lte failovertimer</b> timeout-period	(任意)デフォルトでは、サービスが使用できな くなった場合に、プライマリ SIM がセカンダリ
	例: Device(config-controller)# lte failovertimer 6	SIM にスイッナオーハーするまでのフェール オーバー時間は2分間です。
		スイッチオーバー発生までのフェールオーバー タイムアウトを1~7分で指定します。

I

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	<pre>lte sim data-profile number attach-profile number slot {0   1}</pre>	設定されたプロファイル番号を SIM とそのス ロット番号に適用します。デフォルト(プライマ リ)スロットは 0 です。
	例: Device(config-controller)# lte sim data-profile 2 attach-profile 1 slot 0 Device(config-controller)# lte sim data-profile 2 attach-profile 1 slot 1	2 つの SIM が存在する場合は、このインスタン スでの設定されたプロファイルについて、プラ イマリおよびセカンダリ SIM を指定する必要も あります。

```
____
(注)
```

cellular 0 lte sim activate slot <0 or 1> コマンドを使用して SIM を手動でアクティベートできます。

#### 設定例

次に、デュアル SIM を設定する例を示します。

```
router# configure terminal
router(config)# controller Cellular 0
router(config-controller)# lte sim data-profile 1 attach-profile 1 slot 0
router(config-controller)# lte sim data-profile 2 attach-profile 2 slot 1
router(config-controller)# lte sim primary slot 1
router(config-controller)# lte sim max-retry 20
router(config-controller)# lte sim failovertimer 5
```

次に、SIM でアクティブ プロファイルを表示する例を示します。

```
router# show cellular 0 profile
Profile Information
Profile 1 = INACTIVE
_____
PDP Type = IPv4
Access Point Name (APN) = internet.telenor.se
Profile 2 = ACTIVE* **
_____
PDP Type = IPv4
PDP address = 78.78.16.214
Access Point Name (APN) = telia.online.se
       Primary DNS address = 195.67.199.18
       Secondary DNS address = 195.67.199.19
  * - Default profile
 ** - LTE attach profile
Configured default profile for active SIM 1 is profile 2.
```

#### 次に、デュアル SIM のステータスを表示する例を示します。

```
router# show cellular 0 security
Active SIM = 0
SIM switchover attempts = 0
Card Holder Verification (CHV1) = Disabled
SIM Status = OK
SIM User Operation Required = None
Number of CHV1 Retries remaining = 3
router#
```

次に、デュアル SIM のステータスを表示する例を示します。

```
router# show controller cellular 0
```

# データ コールの設定

データコールを設定するには、次の手順を実行します。

- セルラーインターフェイスの設定(45ページ)
- DDR の設定(48 ページ)
- DDR バックアップの設定(51 ページ)
- 図 3 は一般的なデータ コール設定を示しています。



# セルラーインターフェイスの設定

セルラーインターフェイスを設定するには、EXEC モードで開始する次のコマンドを入力します。

(注)

I

EHWIC の場合、*unit* 引数はルータスロット、WIC スロット、およびポートをスラッシュで区切って指定します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、*unit* 引数はすべてのコマンドでスロット「0」を指定します。

(注)

Cisco IOS リリース 15.3(3)M および 15.3(1)T 以降、dialer in-band、dialer string、script dialer を含む チャット スクリプト設定は、接続されたモデムの種類に基づいて自動生成されます。3G および 4G EHWIC SKU と固定 3G および 4G ルータは、これらの構成変更をサポートします。

#### 手順の概要

- 1. configure terminal
- 2. interface cellular *unit*
- 3. ip address negotiated
- 4. encapsulation slip
- 5. dialer in-band
- 6. dialer string string
- 7. dialer-group group-number
- 8. exit
- 9. chat-script script-name "" "AT!CALL" TIMEOUT timeout-value "OK"
- **10.** ip route network-number network-mask {ip-address | interface } [administrative distance] [name name]
- **11. dialer-list** *dialer-group* **protocol** *protocol-name* {**permit** | **deny** | **list** *access-list-number* | **access-group**}
- 12. line unit
- 13. script dialer regular-expression

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを
		開始します。
	例:	
	Device# configure terminal	
ステップ 2	interface cellular unit	セルラーインターフェイスを指定します。
	例:	
	<pre>Device(config)# interface cellular 0/0/0</pre>	
ステップ 3	ip address negotiated	特定のインターフェイスの IP アドレスが動的に
		取得されることを指定します。
	例:	
	Device(config-if)# ip address negotiated	

Γ

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	encapsulation slip 例: Device(config-if)# encapsulation slip	専用非同期モードまたはダイヤルオンデマンド ルーティング(DDR)に対して設定されたイン ターフェイスのシリアル ライン インターネッ トプロトコル(SLIP)カプセル化を指定します。 これは、非同期インターフェイスのデフォルト です。
ステップ 5	<b>dialer in-band</b> 例: Device(config-if)# dialer in-band	DDR をイネーブルにし、インバンド ダイヤリン グを使用するよう、指定したシリアル インター フェイスを設定します。
ステップ 6	<b>dialer string</b> string 例: Device(config-if)# dialer string lte	ダイヤルする番号または文字列を指定します。
ステップ 7	<b>dialer-group</b> group-number 例: Device(config-if)# dialer-group 1	指定したインターフェイスが属するダイヤラ ア クセス グループの番号を指定します。
ステップ 8	exit 例: Device(config-if)# exit	グローバル コンフィギュレーション モードを 開始します。
ステップ <b>9</b>	<pre>chat-script script-name "" "AT!CALL" TIMEOUT timeout-value "OK" Ø: Device(config)# chat-script lte"" "AT!CALL" TIMEOUT 60 "OK"</pre>	ダイヤラが開始されたら、ATDT コマンドを定 義します。
ステップ <b>10</b>	<pre>ip route network-number network-mask {ip-address   interface} [administrative distance] [name name]  何: Device(config)# ip route 209.165.200.225 255.255.255.224 cellular 0/0/0</pre>	指定されたインターフェイスを介して、設定さ れているアドミニストレーティブ ディスタンス を使用して、浮動スタティック ルートを確立し ます。 (注) プライマリ インターフェイスがダウン のときにのみ使用されるよう、バック アップ インターフェイスを介するルー トに対して、より大きなアドミニスト レーティブ ディスタンスを設定する必 要があります。
ステップ <b>11</b>	dialer-list dialer-group protocol protocol-name {permit   deny   list access-list-number   access-group} 例: Device(config)# dialer-list 1 protocol ip list 1	関係するトラフィックのダイヤラ リストを作成 し、プロトコル全体に対してアクセスを許可し ます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ <b>12</b>	line unit	ライン コンフィギュレーション モードを指定 します。
	例: Device(config)# line 0/0/0	
ステップ <b>13</b>	script dialer regular-expression	デフォルト モデムのチャット スクリプトを指 定します。
	例: Device(config-line)# script dialer lte	

(注)

トンネル インターフェイスが ip unnumbered cellular 0/0/0 で設定されている場合、ip address negotiated の代わりに、セルラー インターフェイスでの実際のスタティック IP アドレスを設定 する必要があります。セルラー インターフェイスの例については、「例:基本セルラー インター フェイスの設定(Cisco EHWIC-4G-LTE)」セクション(62 ページ)を参照してください。

# **DDR**の設定

セルラーインターフェイスに対して DDR を設定するには、EXEC モードで開始する次のコマンドを入力します。

(注)

EHWIC の場合、*unit* 引数はルータスロット、WIC スロット、およびポートをスラッシュで区切って指定します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、*unit* 引数はすべてのコマンドでスロット「0」を指定します。

#### 手順の概要

- 1. configure terminal
- 2. interface cellular *unit*
- 3. ip address negotiated
- 4. encapsulation slip
- 5. dialer in-band
- 6. dialer pool-member number
- 7. interface dialer *number*
- 8. ip address negotiated
- 9. encapsulation slip
- **10.** dialer pool *number*
- 11. dialer idle-timeout seconds
- **12. dialer string** *string*
- 13. dialer-group group-number
- 14. exit
- **15.** dialer-list *dialer-group* protocol *protocol-name* {permit | deny | list *access-list-number* | access-group}

- 16. access-list access-list-number permit ip-source-address
- 17. line unit
- **18.** script dialer regular-expression
- 19. exit
- 20. chat-script script-name "" "AT!CALL" TIMEOUT timeout-value "OK"

## 手順の詳細

ſ

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例: Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開 始します。
ステップ <b>2</b>	interface cellular unit 例: Device(config)# interface cellular 0/0/0	セルラー インターフェイスを指定します。
ステップ 3	ip address negotiated 例: Device(config-if)# ip address negotiated	特定のインターフェイスの IP アドレスが動的に 取得されることを指定します。
ステップ 4	encapsulation slip 例: Device(config-if)# encapsulation slip	専用非同期モードまたはダイヤルオンデマンド ルーティング(DDR)に対して設定されたイン ターフェイスのシリアル ライン インターネット プロトコル(SLIP)カプセル化を指定します。これ は、非同期インターフェイスのデフォルトです。
ステップ 5	<b>dialer in-band</b> 例: Device(config-if)# dialer in-band	DDR をイネーブルにし、インバンド ダイヤリン グを使用するよう、指定したシリアル インター フェイスを設定します。
ステップ 6	dialer pool-member number 例: Device(config-if)# dialer pool-member 1	特定のインターフェイスが属する、ダイヤラ プロ ファイルのダイアリング プールの番号を指定し ます。
ステップ 7	interface dialer number 例: Device(config-if)# interface dialer 1	特定のインターフェイスが属する、ダイヤラ ロー タリー グループの番号を指定します。
ステップ 8	<b>ip address negotiated</b> 例: Device(config-if)# ip address negotiated	特定のインターフェイスの IP アドレスが動的に 取得されることを指定します。

1

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ <b>9</b>	encapsulation slip 例: Device(config-if)# encapsulation slip	専用非同期モードまたはダイヤルオンデマンド ルーティング(DDR)に対して設定されたイン ターフェイスのシリアル ライン インターネット プロトコル(SLIP)カプセル化を指定します。これ は、非同期インターフェイスのデフォルトです。
ステップ 10	dialer pool number 例: Device(config-if)# dialer pool 1	特定の宛先サブネットワークに接続するために ダイヤラ インターフェイスが使用できるダイア リング プールの番号を指定します。
ステップ 11	dialer idle-timeout seconds 例: Device(config-if)# dialer idle-timeout 30	回線との接続が解除された後の、アイドル時間の 長さを秒単位で指定します。
ステップ 12	<b>dialer string dialer string 例:</b> Device(config-if)# dialer string lte	ダイヤルする番号または文字列を指定します。
ステップ <b>13</b>	dialer-group group-number 例: Device(config-if)# dialer-group 1	指定したインターフェイスが属するダイヤラア クセス グループの番号を指定します。
ステップ 14	exit 例: Device(config-if)# exit	グローバル コンフィギュレーション モードを開 始します。
ステップ <b>15</b>	dialer-list dialer-group protocol protocol-name {permit   deny   list access-list-number   access-group} 例: Device(config)# dialer-list 1 protocol ip list 1	関係するトラフィックのダイヤラ リストを作成 し、プロトコル全体に対してアクセスを許可し ます。
ステップ 16	access-list access-list-number permit ip-source-address 例: Device(config)# access-list 1 permit any	関係するトラフィックを定義します。
ステップ 17	line unit 例: Device(config)# line 0/0/0	ライン コンフィギュレーション モードを指定し ます。
ステップ 18	script dialer regular-expression 例: Device(config-line)# script dialer lte	デフォルト モデムのチャット スクリプトを指定 します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 19	exit	ライン コンフィギュレーション モードを終了し ます。
	例: Device(config-line)# exit	
ステップ <b>20</b>	<pre>chat-script script-name "" "AT!CALL" TIMEOUT timeout-value "OK"</pre>	ダイヤラが開始されたら、ATDT コマンドを定義 します。
	例: Device(config)# chat-script lte"" "AT!CALL" TIMEOUT 60 "OK"	

# DDR バックアップの設定

プライマリ接続をモニタし、必要なときにバックアップ接続を開始するには、ルータで次の方式 の1つを使用できます。

- バックアップインターフェイス:スタンバイの状態のまま待機し、プライマリインターフェイス回線プロトコルがダウンと認識されると、アップ状態になります。
- 浮動スタティック ルート:バックアップ インターフェイスを介する経路に、プライマリ接続のアドミニストレーティブ ディスタンスよりも大きいアドミニストレーティブ ディスタンスがあり、プライマリ インターフェイスがダウンするまで、ルーティング テーブルには存在しません。
- ダイヤラ ウォッチ:ダイヤラ ウォッチは、ダイヤル バックアップをルーティング機能と統合するバックアップ機能です。

#### バックアップインターフェイスを使用するインターフェイスの設定

(注)

セルラーインターフェイスおよびその他の非同期シリアルインターフェイスのバックアップ
 インターフェイスは設定できません。

1 つまたは複数のインターフェイスを設定してバックアップインターフェイスを使用するに は、グローバル コンフィギュレーション モードの最初で次のコマンドを使用します。

#### 手順の概要

ſ

- **1. interface** *type number*
- 2. backup interface cellular number
- 3. backup delay enable-delay-period disable-delay-period

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	interface type number 例: Device(config)# interface atm 0/0/0	バックアップされるインターフェイスを指定 し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	backup interface cellular number 例: Device(config-if)# backup interface cellular 0/0/0	セルラー インターフェイスをバックアップと して指定します。
ステップ <b>3</b>	backup delay enable-delay-period disable-delay-period 例: Device(config-if)# backup delay 0 10	物理インターフェイスがダウンした時点とバッ クアップインターフェイスが有効になる時点 との間、および、物理インターフェイスが戻る時 点とバックアップが無効になる時点との間で の、遅延を指定します。

# 4G GPS および NMEA データ ストリーミングのイネーブル化

NMEA 2.0 に対応した外部の GPS プロッター アプリケーション向けに GPS NMEA データ スト リーミングをイネーブルにできるのは、Cisco 4G LTE EHWIC、Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR、 Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR、Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR になります。

۵, (注)

EHWIC の場合、*unit* 引数でルータスロット、WIC スロット、ポートをスラッシュで区切って指定 します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、*unit* 引数はすべてのコマンドでスロット 「0」を指定します。

#### 手順の概要

- 1. configure terminal
- 2. controller cellular unit
- 3. (任意) Ite gps enable
- 4. Ite gps mode standalone
- 5. Ite gps nmea {ip | serial [streaming]} または Ite gps nmea
- 6. end
- 7. show cellular *unit* gps
- 8. show cellular unit gps detail
- 9. show running
- 10. show line
- 11. telnet ip address port

## 手順の詳細

Γ

	コマンド	説明
ステップ 1	configure terminal	コンフィギュレーションモードを開始します。
	例:	
	Device# configure terminal	
ステップ 2	controller cellular unit	コントローラ セルラー コンフィギュレーショ
	例:	ンモードを開始します。
	Device(config)# controller cellular 0	
ステップ 3	lte gps enable	(任意)デフォルトでは、GPS がイネーブルに
	<i>(</i> 词) ·	なっています。何らかの理由で GPS がディセー
	Device(config-controller)# lte gps enable	てサービス機能をイネーブルにします。
ステップ 4	lte gps mode <b>standalone</b>	スタンドアロン GPS モードをイネーブルにし
		ます。
	<b>کر:</b> Device(config-controller)# lte gps mode standalone	
ステップ 5	<pre>lte gps nmea {ip   serial [streaming]}</pre>	NMEA ストリーミングをイネーブルにします。
	または lte gps nmea	Cisco 4G LTE EHWIC は IP NMEA ストリーミ
		ングだけをサポートします。したがって、IPイ
	<b>例:</b>	ンターフェイスおよびシリアル インターフェ  イス オプションは使用できません。
	Device (config-conclution) # ite gps innea ip	Cisco 819 4G LTE ISR、Cisco C880 シリーズ 4G
		LTE ISR、および Cisco C890 シリーズ 4G LTE
		ISR は、次の NMEA ストリーミンク オフショーンをサポートします。
		• ip:IP インターフェイスを介する NMEA。
		• serial:シリアルインターフェイスを介す
		$\Im$ NMEA
		(1) = 5176400  (bps   is  100  (bps  100
		値)、 <b>line-config</b> (TTY 回線コンフィギュ
		<b>nmea serial ip</b> $\neg \neg \gamma \land 13.4(3)1$ Classifier distribution of the series of the seri
		ターフェイスを備えた Cisco 800 シリー ズ ルータでのみ使田可能です
ステップ 6	end	ヘルーク このみ使用 可能 じり。
		を終了し、特権 EXEC モードに戻ります。
	例:	
	Device(config-controller)# end	

1

	コマンド	説明
ステップ 7	show cellular unit gps	次の GPS データの要約を表示します。
ステップ 1	show cellular unit gps 例: Device# show cellular 0/0/0 gps GPS Info  GPS Feature: enabled GPS Port Selected: DIV port GPS State: GPS enabled GPS Mode Configured: standalone Last Location Fix Error: Offline [0x0] GPS Error Count: 13 Latitude: 37 Deg 24 Min 58 Sec North Longitude: 121 Deg 55 Min 7 Sec West Timestamp (GMT): Thu Aug 15 14:23:35 2013 Fix type index: 0. Height: 15 m	<ul> <li>次の GPS データの要約を表示します。</li> <li>GPS の状態情報(GPS 無効、GPS 取得、GPS 有効)</li> <li>設定された GPS モード(スタンドアロン)</li> <li>GPS の位置およびタイムスタンプ情報</li> <li>GPS 衛星情報</li> <li>GPS 機能(イネーブルまたはディセーブル)</li> <li>選択された GPS ポート(専用 GPS、および バイアスなし電圧の GPS ポート)</li> </ul>
ステップ 8	show cellular unit gps detail	GPS データの詳細を表示します。
	例: Device# show cellular 0 gps detail GPS Info  GPS Feature: enabled GPS Port Selected: DIV port GPS State: GPS enabled GPS Mode Configured: standalone Last Location Fix Error: Offline [0x0] GPS Error Count: 71 Latitude: 37 Deg 24 Min 58 Sec North Longitude: 121 Deg 55 Min 7 Sec West Timestamp (GMT): Fri Aug 16 10:46:25 2013 Fix type index: 0, Height: 20 m HDOP: 0.8, GPS Mode Used: standalone Satellite Info 	
	Satellite #11, elevation 4, azimuth 39, SNR 0	
	Satellite #15, elevation 29, azimuth 284, SNR 0 * Satellite #17, elevation 84, azimuth 118, SNR 0 * Satellite #26, elevation 38, azimuth 224, SNR 0	
ステップ 9	show running config	設定の出力を表示します。
	例: Device# show running config ! controller Cellular 0 lte gps mode standalone lte gps nmea ip !	

Γ

	コマンド	説明
ステップ 10	show line	非同期ポート番号を表示します。
	例: Device# show line	NMEA が設定されると、Cisco IOS が NMEA 非 同期ポートを作成します。ポート番号はプラッ トフォームに依存します。この例では、非同期
	Tty Typ       Tx/Rx       A Modem       Roty       AccO       AccI         Uses       Noise       Overruns       Int         *       0       CTY       -       0       10       10       10       10       10       10       10       10       10       10       10	ポート番号はライン6です。
ステップ <b>11</b>	<pre>support: 4-5, 7-9 telnet ip address port Ø]: Device# telnet 10.1.1.1 2006 Trying 10.1.1.1, 2006Open \$GPRMC, V,, N*53 \$GPGSV, 3, 1, 11, 01, 17, 049, 34, 04, 16, 164, 30, 08, 29, 129, 32, 09, 29, 136, 38*70 \$GPGSV, 3, 2, 11, 15, 29, 281, 37, 17, 83, 073, 36, 28, ., 41, 07 , 00, 135, *4B \$GPGSV, 3, 3, 11, 11, 01, 037, ,12, 00, 272, ,24, 18, 313, *46 \$GLGSV, 2, 1, 08, 78, 23, 323, 27, 86, 25, 030, 27, 77, 67, 014, 25, 76, 37, 112, 32*6D \$GLGSV, 2, 2, 08, 88, 39, 203, 32, 87, 81, 070, 31, 68, 01, 292, 34, 69, ,, *5A \$GPGGA, 185555.0, 3724.984762, N, 12155.122163, W, 1, 04, 13.3, 23.2, M, -27.0, M, *6A \$PQXFI, 185555.0, 3724.984762, N, 12155.122163, W, 23.2, 264.53, 176.14, 9.08*46 \$GNGNS, 185555.0, 3724.984762, N, 12155.122163, W, AN, 04 , 13.3, 23.2, -27.0, .*51 \$GPVTG, T, M, N, K, N*2C \$GPRMC, 185555.0, A, 3724.984762, N, 12155.122163, W, AN, 04 , 13.3, 23.2, -27.0, .*51 \$GPVTG, T, M, N, K, N*2C \$GPRMC, 185555.0, A, 3724.984762, N, 12155.122163, W, AN, 04 , 13.3, 23.2, -27.0, .*51 \$GPVTG, T, M, N, K, N*2C \$GPRMC, 185555.0, A, 3724.984762, N, 12155.122163, W, 1, 1 60813, ., A*7B \$GPGSA, A, 3, 08, 09, 15, 17,, 16.2, 13.3, 9.2*32 \$GNGSA, A, 3, 08, 09, 15, 17,, 16.2, 13.3, 9.2*20 \$GNGSA, A, 3,,,, 16.2, 13.3, 9.2*23</pre>	NMEA ストリーミングがイネーブルになると、 GPS フィックスが取得されたかどうかにかか わらず、モデムは NMEA ポートでの NMEA データ ストリーミングを開始します。NMEA ポートにリバース Telnet を実行して、NMEA データをチェックできます。

# 4G SMS メッセージングの設定

(注) EHWIC のコンテキストでは、unit 引数でルータスロット、WIC スロット、ポートをスラッシュで 区切って指定します(0/0/0)。Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR の場合、unit 引数はすべてのコマン ドでスロット「0」を指定します。

#### 手順の概要

- 1. configure terminal
- 2. controller cellular unit
- 3. Ite sms archive path *FTP-URL*
- 4. cellular *unit* lte sms view {all | *ID* | summary}
- 5. end
- 6. show cellular *unit* sms
- 7. cellular unit lte sms send number
- 8. cellular *unit* lte sms delete [all | *id*]

## 手順の詳細

	コマンド		説明
ステップ 1	configure terminal		コンフィギュレーションモードを開始します。
	<b>例:</b> Device# configure terminal		
ステップ <b>2</b>	controller cellular unit 例: Device(config)# controller cellula	ar 0/1/0	コントローラ セルラー コンフィギュレー ション モードを開始します。
ステップ <b>3</b>	<b>Ite sms archive path</b> <i>FTP-URL</i> 例: Device(config-controller)# lte sms ftp://username:password@172.25.21;	s archive path L.175/SMS-LTE	すべての入出力 SMS メッセージを送る FTP サーバのフォルダ パスを指定します。フォルダ パスを指定すると、SMS メッセージが送信およ び受信されるフォルダの末尾に、次のように outbox および inbox が自動的に付加されます。 ftp://172.25.211.175/SMS-LTE/outbox ftp://172.25.211.175/SMS-LTE/inbox
ステップ 4	cellular unit lte sms view {all           例:         Device# cellular 0/0/0 lte sms vie         ID FROM YY/MM/D         CONTENT         0 4442235525 12/05/2         Your entry last month has         2 5553337777 13/08/0         First         3 5553337777 13/08/0         Second	<i>ID</i> / <b>summary</b> <b>SW SUMMATY</b> D HR:MN:SC SIZE 9 10:50:13 137 1 10:24:56 5 1 10:25:02 6	<ul> <li>モデムによって受信された着信テキストメッセージの内容を表示します。</li> <li>all:モデムによって受信された最大 255 個の着信テキストメッセージの内容を表示します。</li> <li><i>ID</i>:着信テキストメッセージのうち指定された ID(0~255)のメッセージの内容を表示します。</li> <li>summary:モデムによって受信された着信テキストメッセージの要約を表示します。</li> </ul>

Γ

	コマンド	説明
ステップ 5	end 例:	コンフィギュレーション モードを終了し、特 権 EXEC モードに戻ります。
	Device(config)# end	
ステップ 6	<pre>show cellular unit sms fil: Device# show cellular 0/0/0 sms Incoming Message Information</pre>	送受信されたテキストメッセージのすべての 情報を表示します。メッセージ情報には送信 済み、受信、アーカイブ、送信保留テキスト メッセージが含まれます。試行が FAILED と なった場合、LTE 固有のエラー情報が表示さ れる場合もあります。
<b>ステップ 1</b>	SMS Archive URL = ftp://fab:fab@f.3.150.1/outbox cellular unit lte sms send number 例: Device# cellular 0/1/0 lte sms send 15554443333	<ul> <li>ユーザにテキストメッセージプランがある 場合、他の有効な受信者への 4G LTE バンド SMS メッセージ送信をイネーブルにします。 number 引数は、SMS メッセージ受信者の電話 番号です。</li> <li>(注) 10 桁または 11 桁の(電話)番号がテキ ストを送信するための適切な数値形式 です。たとえば、########## または 1####################################</li></ul>
ステップ 2	cellular unit lte sms delete [all   id] 例: Device# cellular 0/1/0 lte sms delete all	(任意)メモリから1つのメッセージ ID または すべての保存済みメッセージを削除します。

# QoS

Quality of Service (QoS) は、ネットワークの輻輳時に特定のサービスの優先処理を保証します。 LTE ネットワークでは、QoS はユーザ機器(UE) とパケット データ ネットワーク(PDN) ゲート ウェイの間に実装されます。QoS 処理は、関連するデータ ベアラーのセットに適用されます。ベ アラーは、特定のタイプ オブ サービス(ToS)を伝送する PDN ゲートウェイと UE の間における 仮想データ パスで、VoIP などが例として挙げられます。ベアラーはトラフィック フロー テンプ レート(TFT) パラメータと呼ばれるパラメータのセットで識別されます。エンドツーエンドでベ アラー レベルの QoS が実現できるよう、IOS やネットワーク設定の両方で、これらのベアラーに 帯域幅関連パラメータが適用されます。たとえば、VoIP トラフィックは、保証された帯域幅を割 り当てられた特定のベアラーによって伝送され、別のベアラーによって受け渡される Web ブラ ウザのトラフィックよりも優先されます。

ISRG2 ルータの Cisco 4G-LTE インターフェイスは、ネットワーク側から開始された QoS のみサ ポートします。ある UE との間に QoS が登録されている場合、その UE がネットワークに接続し た後に、ネットワークが UE とコア ネットワークの間にベアラーを確立します。それ以外の場合 は、デフォルトのデータ ベアラーのみが UE とネットワークとの間で作成されます。これらの専 用ベアラーを確立するのに、ユーザによる操作は必要ありません。

ISRG2 ルータの Cisco 4G-LTE インターフェイスは、最大8 つのベアラーをサポートします。これ らのベアラーは、コア ネットワークへの接続後に UE にダウンロードされるトラフィック フ ロー テンプレート(TFT)パラメータに基づいて作成されます。ホスト ルータは、トラフィック全 体をシェーピングするように設定する必要があります。同様に、ルータの IOS QoS 設定パラメー タは、登録済みの LTE QoS パラメータと一致するように設定する必要があります。サービスが 3G にフォールバックすると、UE はプライマリ PDP コンテキストを設定し、単一の PDP コンテ キストを介したすべてのトラフィック フローとともに、専用ベアラーが削除されます。

# 機能制限

QoS には、次の制約事項が適用されます。

- UE 側から開始された QoS はサポートされません。
- QoS のパラメータは、ユーザとキャリアのサービス契約によって決定されます。
- IOS QoS 設定は、サービス プロバイダー ネットワークの登録済み QoS と一致している必要 があります。登録済みの LTE QoS のパラメータを変更した場合、対応する内容が IOS QoS 設 定に反映される必要があります。

## QoS の設定の前提条件

LTE QoS は、Cisco IOS 15.5(1)T 以降のリリースでサポートされます。

## Quality of Service の設定

図 4 は、4G LTE ネットワークでの QoS 実装の概略図です。



- Dedicated bearer : Match particular TOS Traffic

Sample TOS/MASK : AO/E0

次の例は、推奨設定のサンプルを示しています。この例では、次のようになります。

- エンドユーザからのトラフィックは、ISRG2ルータでマーキングされます。これによりお客様は、キャリアが提供する LTE QoS ポリシーを使用してトラフィックをマッピングすることができます。
- エンドユーザのデバイスからのトラフィックは入力インターフェイスでマーキングされ、 出力インターフェイスでポリシングされます。出力インターフェイスでのポリシングは、 キャリアが提供するポリシーに基づいて実行できます。
- 広域携帯電話ネットワークは共有メディアであるため、可変帯域幅環境です。出力インターフェイス(セルラーインターフェイス)で効果的なトラフィック制御ポリシーを設計および実装することで、無線リソースを効率的に活用しビジネスクリティカルなアプリケーションをサポートできます。IOS QoS を正しく機能させるためには、トラフィックシェーピングを目的とする適切な LTE 帯域幅を、エンドユーザの責任で決定していただく必要があります。

この例では、キャリアが次の LTE ポリシーを提供します。

- 1デフォルトベアラー:ベストエフォート
- 1 非 GBR 専用ベアラー: DSCP CS4 を許可: 500 Kbps までのレート制限
- 1 GBR 専用ベアラー: DSCP CS5 を許可: 50 Kbps までのレート制限
- 全体の平均帯域幅を考慮し、出力トラフィックは 1.5 Mbps にシェーピングされています

図 5 に、入力トラフィックのマーキングポリシー設定を示します。

364171



図 6 に、出力クラスベースのトラフィック制御ポリシー設定を示します。



入力トラフィックのマーキング ポリシー 設定



QoS 機能の設定の詳細については、『Quality of Service Solutions Configuration Guide Library, Cisco IOS Release 15M&T』を参照してください。

# QoS のトラブルシューティング

ルータのブートアップ時に QoS がイネーブルである場合や、モデムがネットワークに接続する 場合に、セルラーインターフェイスが、ユーザに syslog メッセージを通知します。また、TFT プロ ファイルがコア ネットワークにより追加、削除、変更された場合にもメッセージが送信されま す。ユーザは、自身の側の設定を TFT プロファイルに一致するように変更する必要があります。 表 5 は、さまざまなイベントで生成される syslog メッセージの一覧です。

表 5 syslog メッセージ

syslog メッセージ	説明
DEDICATED_BEARER_UP: Dedicated bearer (bearer_id=%d) in HWIC slot %d/%d is now UP	専用ベアラーが追加されました。show cellular コマンドを使用し て専用ベアラーの TFT ルールを確認し、それに応じて QoS 設定を 追加します。
DEDICATED_BEARER_DOWN: Dedicated bearer (bearer_id=%d) in HWIC slot %d/%d is now down	さらに調査が必要なネットワークの問題がある可能性がありま す。キャリアに連絡してください。
DEDICATED_BEARER_DELET ED: Dedicated bearer (bearer_id=%d) in HWIC slot %d/%d is now deleted	ホストの QoS 設定を、モデムの設定と一致するように変更する必要があります。show cellular コマンドを使用してベアラーの TFT ルールを確認し、ホストの QoS 設定を TFT ルールと一致するよう に設定します。

#### 表 5 syslog メッセージ

syslog メッセージ	説明
DEDICATED_BEARER_MODIF IED: Dedicated bearer (bearer_id=%d) configuration in HWIC slot %d/%d is modified	専用ベアラー設定が変更されました。show cellular コマンドを使用してベアラーの TFT ルールを確認し、ホストの QoS 設定を TFT ルールと一致するように設定します。

# 4G LTE の設定例

- 例:基本セルラーインターフェイスの設定(Cisco EHWIC-4G-LTE)(62ページ)
- 例:基本セルラーインターフェイスの設定(Cisco 819 4G LTE ISR)(63 ページ)
- 常時接続のセルラーインターフェイスの設定(63ページ)
- 例:セルラーインターフェイスの設定を介した GRE トンネル(64 ページ)
- NAT および IPsec を使用したバックアップとしての 4G LTE ワイヤレス WAN(65 ページ)
- SIM の設定:例(67 ページ)
- SMS によるデータ コールバック設定:例(71ページ)
- 外部ダイヤラインターフェイスを使用しないダイヤラウォッチの設定:例(72ページ)
- 外部ダイヤラインターフェイスを使用する dialer-persistent の設定:例(72ページ)
- 例:マルチ PDN の設定(73 ページ)

# 例:基本セルラーインターフェイスの設定(Cisco EHWIC-4G-LTE)

次に、プライマリとして使用されるようセルラーインターフェイスを設定し、デフォルトルートとして設定する例を示します。

Device# **show running-config** chat-script lte "" "AT!CALL" TIMEOUT 20 "OK"

interface Cellular0/0/0
ip address negotiated
encapsulation slip
dialer in-band
dialer string lte
dialer-group 1
async mode interactive

ip route 172.22.1.10 255.255.255.255 cellular 0/0/0

dialer-list 1 protocol ip permit

line 0/0/0 script dialer lte modem InOut

I

# 例:基本セルラーインターフェイスの設定(Cisco 819 4G LTE ISR)

```
次に、プライマリとして使用され、デフォルト ルートとして設定されるセルラー インターフェ
イスを設定する例を示します。
chat-script lte "" "AT!CALL1" TIMEOUT 20 "OK"
1
1
controller Cellular 0
1
I.
interface Cellular0
ip address negotiated
 encapsulation slip
 load-interval 30
 dialer in-band
 dialer idle-timeout 0
 dialer string lte
 dialer-group 1
no peer default ip address
 async mode interactive
routing dynamic
1
ip route 172.22.1.10 255.255.255.255 cellular 0/0/0
1
dialer-list 1 protocol ip permit
1
line 3
script dialer lte
modem InOut
no exec
transport input all
 transport output all
!
```

# 常時接続のセルラーインターフェイスの設定

ここでは、次の設定例について説明します。

- 外部ダイヤラインターフェイスを使用しないダイヤラウォッチの設定(63ページ)
- 外部ダイヤラインターフェイスを使用する dialer-persistent の設定(64ページ)

# 外部ダイヤラインターフェイスを使用しないダイヤラウォッチの設定

次に、外部ダイヤラ インターフェイスを使用しないダイヤラウォッチを設定する例を示します。 太字テキストはダイヤラウォッチに固有の重要なコマンドを示します。

chat-script lte "" "AT!CALL" TIMEOUT 20 "OK"

```
interface Cellular0/0/0
ip address negotiated
encapsulation slip
dialer in-band
dialer string LTE
dialer watch-group 1
async mode interactive
!
dialer watch-list 1 ip 5.6.7.8 0.0.0.0
dialer watch-list 1 delay route-check initial 60
```

I

#### dialer watch-list 1 delay connect 1

```
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 cellular 0/0/0
line 0/0/0
script dialer LTE
modem InOut
no exec
transport input all
transport output all
```

# 外部ダイヤラインターフェイスを使用する dialer-persistent の設定

次に、外部ダイヤラインターフェイスを使用する dialer-persistent を設定する例を示します。太字 テキストは dialer-persistent に固有の重要なコマンドを示します。

```
chat-script lte "" "AT!CALL" TIMEOUT 20 "OK"
```

```
interface Cellular0/0/0
ip address negotiated
encapsulation slip
dialer in-band
dialer pool-member 1
async mode interactive
routing dynamic
```

#### interface Dialer1

ip address negotiated encapsulation slip dialer pool 1 dialer idle-timeout 0 dialer string lte dialer persistent dialer-group 1

dialer-list 1 protocol ip permit ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 dialer 1

line 0/0/0
script dialer lte
modem InOut
no exec
transport input all
transport output all

# 例:セルラーインターフェイスの設定を介した GRE トンネル

次に、GRE トンネル インターフェイスが **ip address unnumbered** *cellular interface* で設定されて いる場合に、スタティック IP アドレスを設定する例を示します。



GRE トンネルの設定は、サービス プロバイダーが LTE インターフェイスのパブリック IP アドレスを提供している場合にだけサポートされます。

(注)

プライベート IP アドレスを使用するサービス プロバイダーの場合、ポイントツーポイント スタ ティック GRE トンネルの一方のエンドをプライベート IP アドレスに、もう一方のエンドをパブ リック IP アドレスに設定することはできません。

interface Tunnel2
ip unnumbered <internal LAN interface GE0/0 etc.>
tunnel source Cellular0
tunnel destination a.b.c.d
interface Cellular0
ip address negotiated
encapsulation slip
no ip mroute-cache
dialer in-band
dialer string lte
dialer-group 1
async mode interactive

# NAT および IPsec を使用したバックアップとしての 4G LTE ワイヤレス WAN

次に、NAT および IPSec をバックアップとして、ルータ上に 4G-LTE ワイヤレス WAN を設定す る例を示します。

(注)

I

送受信速度は設定できません。実際のスループットは、携帯電話ネットワーク サービスによって 異なります。

```
ip dhcp excluded-address 10.4.0.254
!
ip dhcp pool lan-pool
   network 10.4.0.0 255.255.0.0
   dns-server 10.4.0.254
   default-router 10.4.0.254
!
!
chat-script lte "" "AT!CALL" TIMEOUT 20 "OK"
crypto isakmp policy 1
encr 3des
authentication pre-share
crypto isakmp key address a.b.c.d
1
1
crypto ipsec transform-set ah-sha-hmac esp-3des
!
crypto map gsm1 10 ipsec-isakmp
 set peer a.b.c.d
set transform-set
match address 103
1
1
interface ATM0/0/0
no ip address
 ip virtual-reassembly
 load-interval 30
no atm ilmi-keepalive
dsl operating-mode auto
!
```

```
interface ATM0/0/0.1 point-to-point
backup interface Cellular0/3/0
ip nat outside
ip virtual-reassembly
no snmp trap link-status
pvc 0/35
 pppoe-client dial-pool-number 2
 1
T.
interface Cellular0/3/0
ip address negotiated
ip nat outside
ip virtual-reassembly
encapsulation slip
no ip mroute-cache
dialer in-band
dialer idle-timeout 0
dialer string lte
dialer-group 1
async mode interactive
crypto map gsm1
T.
interface Vlan104
description used as default gateway address for DHCP clients
ip address 10.4.0.254 255.255.0.0
ip nat inside
ip virtual-reassembly
interface Dialer2
ip address negotiated
ip mtu 1492
ip nat outside
ip virtual-reassembly
encapsulation ppp
 load-interval 30
dialer pool 2
dialer-group 2
ppp authentication chap callin
ppp chap hostname cisco@dsl.com
ppp chap password 0 cisco
ppp ipcp dns request
crypto map gsm1
!
ip local policy route-map track-primary-if
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 Dialer2 track 234
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 Cellular0/3/0 254
ip nat inside source route-map nat2cell interface Cellular0/3/0 overload
ip nat inside source route-map nat2ds1 interface Dialer2 overload
1
ip sla 1
icmp-echo 2.2.2.2 source-interface Dialer2
timeout 1000
frequency 2
ip sla schedule 1 life forever start-time now
access-list 1 permit any
access-list 101 deny ip 10.4.0.0 0.0.255.255 10.0.0.0 0.255.255.255
access-list 101 permit ip 10.4.0.0 0.0.255.255 any
access-list 102 permit icmp any host 2.2.2.2
access-list 103 permit ip 10.4.0.0 0.0.255.255 10.0.0.0 0.255.255.255
dialer-list 1 protocol ip list 1
dialer-list 2 protocol ip permit
```

```
!
route-map track-primary-if permit 10
match ip address 102
set interface Dialer2
!
route-map nat2dsl permit 10
match ip address 101
match interface Dialer2
!
route-map nat2cell permit 10
match ip address 101
match interface Cellular0/3/0
!
line 0/3/0
 exec-timeout 0 0
 script dialer lte
login
modem InOut
```

(注)

プライベート IP アドレスを使用するサービス プロバイダーに対して、crypto ipsec transform-set esp コマンド(つまり、esp-aes esp-sha256-hmac...)を使用します。

# SIM の設定:例

- SIM カードのロック:例(67 ページ)
- SIM カードのロック解除:例(68ページ)
- 自動 SIM 認証:例(68 ページ)
- PIN コードの変更:例(69ページ)
- 暗号化された PIN の設定:例(70ページ)

## SIM カードのロック:例

次の例は、SIM をロックする方法を示しています。この設定例内で斜体で記載されたテキストは コメントを示すために使用されており、通常のコンソール出力を表示した場合には表示されま せん。

```
Device# sh cellular 0/0/0 security
Card Holder Verification (CHV1) = Disabled
SIM Status = OK
SIM User Operation Required = None
Number of CHV1 Retries remaining = 3
Device#
!
1
   SIM is in unlocked state.
1
Device# cellular 0/0/0 lte sim lock 1111
!!!WARNING: SIM will be locked with pin=1111(4).
Do not enter new PIN to lock SIM.Enter PIN that the SIM is configured with.
Call will be disconnected !!!
Are you sure you want to proceed?[confirm]
Device#
Apr 26 19:35:28.339: %CELLWAN-2-MODEM_DOWN: Modem in HWIC slot 0/0 is DOWN
Apr 26 19:35:59.967: %CELLWAN-2-MODEM_UP: Modem in HWIC slot 0/0 is now UP
Device#
```

```
Device# sh cellular 0/0/0 security
Card Holder Verification (CHV1) = Enabled
SIM Status = Locked
SIM User Operation Required = Enter CHV1
Number of CHV1 Retries remaining = 3
Device#
!
SIM is in locked state.
!
```

# SIM カードのロック解除:例

次の例は、SIM をアンロックする方法を示しています。この設定例内で斜体で記載されたテキストはコメントを示すために使用されており、通常のコンソール出力を表示した場合には表示されません。

```
Device# sh cellular 0/0/0 security
Card Holder Verification (CHV1) = Enabled
SIM Status = Locked
SIM User Operation Required = Enter CHV1
Number of CHV1 Retries remaining = 3
Device#
!
!
   SIM is in locked state.
!
Device# cellular 0/0/0 lte sim unlock 1111
!!!WARNING: SIM will be unlocked with pin=1111(4).
Do not enter new PIN to unlock SIM.Enter PIN that the SIM is configured with.
Call will be disconnected !!!
Are you sure you want to proceed?[confirm]
Device#
Device# sh cellular 0/0/0 security
Card Holder Verification (CHV1) = Disabled
SIM Status = OK
SIM User Operation Required = None
Number of CHV1 Retries remaining = 3
Device#
!
1
   SIM is in unlocked state.
!
```

# 自動 SIM 認証:例

次の例は、自動 SIM 認証を設定する方法を示しています。この設定例内で斜体で記載されたテキ ストはコメントを示すために使用されており、通常のコンソール出力を表示した場合には表示 されません。

```
Are you sure you want to proceed?[confirm]
Device#
Apr 26 21:22:34.555: %CELLWAN-2-MODEM_DOWN: Modem in HWIC slot 0/0 is DOWN
Apr 26 21:23:06.495: %CELLWAN-2-MODEM_UP: Modem in HWIC slot 0/0 is now UP
Device#
Device# sh cellular 0/0/0 security
Card Holder Verification (CHV1) = Enabled
SIM Status = Locked
SIM User Operation Required = Enter CHV1
Number of CHV1 Retries remaining = 3
Device#
1
   SIM is in locked state.SIM needs to be in locked state for SIM authentication to
!
!
   work.
1
Device#
Device# conf term
Enter configuration commands, one per line.End with CNTL/Z.
Device(config) # controller cellular 0/0
Device(config-controller) # lte sim authenticate 0 1111
CHV1 configured and sent to modem for verification
Device(config-controller) # end
Device#
Apr 26 21:23:50.571: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
Device#
Device# sh cellular 0/0/0 security
Card Holder Verification (CHV1) = Enabled
SIM Status = OK
SIM User Operation Required = None
Number of CHV1 Retries remaining = 3
Device#
!
!
   SIM is now in locked state but it can be used for connectivity since authentication is
   good.Authentication can be saved in the router configuration so that when you boot up
!
   the router with the same locked SIM, connection can be established with the correct
1
!
   Cisco IOS configuration.
1
```

# PIN コードの変更:例

次の例は、割り当てられた PIN コードを変更する方法を示しています。この設定例内で斜体で記載されたテキストはコメントを示すために使用されており、通常のコンソール出力を表示した場合には表示されません。

```
Device# sh cellular 0/0/0 security
Card Holder Verification (CHV1) = Disabled
SIM Status = OK
SIM User Operation Required = None
Number of CHV1 Retries remaining = 3
Device#
1
!
   SIM is in unlocked state.
Device#
Device# cellular 0/0/0 lte sim lock 1111
!!!WARNING: SIM will be locked with pin=1111(4).
Do not enter new PIN to lock SIM.Enter PIN that the SIM is configured with.
Call will be disconnected !!!
Are you sure you want to proceed?[confirm]
Device#
Apr 26 21:58:11.903: %CELLWAN-2-MODEM_DOWN: Modem in HWIC slot 0/0 is DOWN
Apr 26 21:58:43.775: %CELLWAN-2-MODEM_UP: Modem in HWIC slot 0/0 is now UP
```

```
Device#
Device# sh cellular 0/0/0 security
Card Holder Verification (CHV1) = Enabled
SIM Status = Locked
SIM User Operation Required = Enter CHV1
Number of CHV1 Retries remaining = 3
Device#
!
!
   SIM is in locked state.SIM needs to be in locked state to change its PIN.
Device#
Device# cellular 0/0/0 lte sim change-pin 1111 0000
!!!WARNING: SIM PIN will be changed from:1111(4) to:0000(4)
Call will be disconnected. If old PIN is entered incorrectly in 3 attempt(s), SIM will be
blocked!!!
Are you sure you want to proceed?[confirm]
Resetting modem, please wait...
CHV1 code change has been completed.Please enter the new PIN in controller configuration
for verfication
Device#
Apr 26 21:59:16.735: %CELLWAN-2-MODEM_DOWN: Modem in HWIC slot 0/0 is DOWN
Apr 26 21:59:48.387: %CELLWAN-2-MODEM_UP: Modem in HWIC slot 0/0 is now UP
Device#
Device#
Device# sh cellular 0/0/0 security
Card Holder Verification (CHV1) = Enabled
SIM Status = Locked
SIM User Operation Required = Enter CHV1
Number of CHV1 Retries remaining = 3
Device#
!
!
   SIM stays in locked state, as expected, but with new PIN.
1
Device# cellular 0/0/0 lte sim unlock 0000
!!!WARNING: SIM will be unlocked with pin=0000(4).
Do not enter new PIN to unlock SIM.Enter PIN that the SIM is configured with.
Call will be disconnected !!!
Are you sure you want to proceed?[confirm]
Device#
Device# show cellular 0/0/0 security
Card Holder Verification (CHV1) = Disabled
SIM Status = OK
SIM User Operation Required = None
Number of CHV1 Retries remaining = 3
Device#
!
!
   Unlock with new PIN is successful.Hence, changing PIN was successful.
```

# 暗号化された PIN の設定:例

次の例は、暗号化された PIN を使用して自動 SIM 認証を設定する方法を示しています。この設定 例内で斜体で記載されたテキストはコメントを示すために使用されており、通常のコンソール 出力を表示した場合には表示されません。

```
Device# configure terminal
Enter configuration commands, one per line.End with CNTL/Z.
Device(config)# service password-encryption
Device(config)# username SIM privilege 0 password 1111
Device(config)# do sh run | i SIM
username SIM privilege 0 password 7 055A575E70.
```

```
! Copy the encrypted level 7 PIN.Use this scrambled PIN in the SIM authentication
! command.
!
Device(config)#
Device(config)# controller cellular 0/0
Device(config-controller)# lte sim authenticate 7 055A575E70
CHV1 configured and sent to modem for verification
Device(config-controller)# exit
Device(config)# no username SIM
Device(config)# end
May 14 20:20:52.603: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
```

# SMS によるデータ コールバック設定:例

次の例に、SMS によるデータ コールバック機能をダイヤラ インターフェイスに設定して、テキ ストメッセージをモデムに送信することでデータ接続をセットアップし、発信側番号を使用し て不正なコールバック要求を排除することでデータ接続をセキュアにする方法を示します。

(注)

次の例で、電話番号「14001234567」は着信コールの発信者番号です。

```
chat-script lte "" "AT!CALL" TIMEOUT 20 "OK"
interface Cellular0/0/0
ip address negotiated
encapsulation slip
dialer in-band
dialer pool-member 1
async mode interactive
routing dynamic
1
interface Dialer1
ip address negotiated
encapsulation slip
dialer pool 1
dialer idle-timeout 0
dialer string lte
dialer caller 14001234567 callback
dialer-group 1
1
ip route 172.22.1.10 255.255.255.255 Cellular0/0/0
dialer-list 1 protocol ip permit
1
       line 0/0/0
       script dialer LTE
       modem InOut
       no exec
       transport input all
       transport output all
```

# 外部ダイヤラインターフェイスを使用しないダイヤラウォッチの設 定:例

次に、外部ダイヤラインターフェイスを使用しないダイヤラウォッチを設定する例を示します。 太字テキストはダイヤラウォッチに固有の重要なコマンドを示します。

chat-script lte "" "AT!CALL1" TIMEOUT 20 "OK" interface Cellular0 ip address negotiated encapsulation slip dialer in-band dialer string LTE dialer watch-group 1 async mode interactive dialer watch-list 1 ip 5.6.7.8 0.0.0.0 dialer watch-list 1 delay route-check initial 60 dialer watch-list 1 delay connect 1 ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 cellular 0 line 3 script dialer LTE modem InOut no exec transport input all transport output all

# 外部ダイヤラインターフェイスを使用する dialer-persistent の設定:例

次に、外部ダイヤラインターフェイスを使用する dialer-persistent を設定する例を示します。太字 テキストは dialer-persistent に固有の重要なコマンドを示します。

interface Cellular0 ip address negotiated encapsulation slip dialer in-band dialer pool-member 1 async mode interactive routing dynamic interface Dialer1 ip address negotiated encapsulation slip dialer pool 1 dialer idle-timeout 0 dialer string lte dialer persistent dialer-group 1 dialer-list 1 protocol ip permit ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 dialer 1 line 3 script dialer lte modem InOut no exec transport input all transport output all
## 例:マルチ PDN の設定

次に、マルチ PDN を設定する例を示します。 chat-script lte "" "AT!CALL" TIMEOUT 20 "OK" 1 interface Cellular0 ip address negotiated encapsulation slip dialer in-band dialer idle-timeout 0 dialer string lte dialer-group 1 no peer default ip address async mode interactive routing dynamic ! interface Cellular1 ip address negotiated encapsulation slip dialer in-band dialer idle-timeout 0 dialer string lte dialer-group 1 1 ip route 141.141.141.141 255.255.255.255 Cellular1 ip route 192.169.187.254 255.255.255.255 Cellular0 1 line 3 exec-timeout 0 0 script dialer lte modem InOut no exec transport input all transport output all rxspeed 10000000 txspeed 5000000 1 line 8 script dialer lte modem InOut no exec transport input all transport output all rxspeed 10000000 txspeed 5000000

次に、マルチ PDN 発信のステータスの確認に使用できるコマンドを示します。

```
C800-router#sh cellular 0 profile

Profile 1 = ACTIVE* **

-------

PDP Type = IPv4

PDP address = 21.21.21.204

Access Point Name (APN) = basic

Authentication = None

Primary DNS address = 171.70.168.183

Secondary DNS address = 173.36.131.10

Profile 2 = ACTIVE

------

PDP Type = IPv4

PDP address = 22.22.22.111

Access Point Name (APN) = mpdn

Authentication = None
```

```
Primary DNS address = 171.70.168.183
Secondary DNS address = 173.36.131.10
Profile 3 = INACTIVE
-----PDP Type = IPv4
Access Point Name (APN) = aaaauth
Authentication = None
Profile 4 = INACTIVE
_____
PDP Type = IPv4
Access Point Name (APN) = basic2
Authentication = None
* - Default profile
** - LTE attach profile
Configured default profile for active SIM 0 is profile 1.
C800-router#sh cellular 0 connection
Profile 1, Packet Session Status = ACTIVE
Cellular0:
Data Transmitted = 600 bytes, Received = 500 bytes
IP address = 21.21.21.204
Primary DNS address = 171.70.168.183
Secondary DNS address = 173.36.131.10
Profile 2, Packet Session Status = ACTIVE
Cellular1:
Data Transmitted = 1800 bytes, Received = 1800 bytes
IP address = 22.22.22.111
Primary DNS address = 171.70.168.183
Secondary DNS address = 173.36.131.10
Profile 3, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 4, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 5, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 6, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 7, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 8, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 9, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 10, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 11, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 12, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 13, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 14, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 15, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 16, Packet Session Status = INACTIVE
C800-router#sh ip interface brief
Interface
                     IP-Address
                                    OK?Method Status
                                                              Protocol
                       21.21.21.204 YES IPCP
Cellular0
                                                up
                                                                 up
                       22.22.22.111 YES IPCP
Cellular1
                                                up
                                                                 up
                   unassigned YES unset up
FastEthernet0
                                                               up
FastEthernet1
                    unassigned
                                  YES unset down
                                                             down
FastEthernet2
                                  YES unset down
                                                             down
                    unassigned
                    unassigned
FastEthernet3
                                  YES unset down
                                                             down
                   unassigned YES NVRAM down
GigabitEthernet0
                                                        down
                                     YES NVRAM up
Loopback0
                    1.1.1.1
                                     YES NVRAM administratively down down
                                                                 up
Serial0
                        unassigned
Vlan1
                          5.13.1.22
                                         YES NVRAM up
                                                                    up
                          72.119.152.9 YES NVRAM down
Vlan2
                                                               down
C800-router#show ip dns view
```

DNS View default parameters: Logging is off DNS Resolver settings: Domain lookup is disabled

ſ

```
Default domain name:
  Domain search list:
  Lookup timeout: 3 seconds
  Lookup retries: 2
  Domain name-servers:
171.70.168.183
173.36.131.10
DNS Server settings:
   Forwarding of queries is disabled
   Forwarder timeout: 3 seconds
   Forwarder retries: 2 C800-router#sh cellular 0 profile
Profile 1 = ACTIVE* **
_____
PDP Type = IPv4
PDP address = 21.21.21.204
Access Point Name (APN) = basic
Authentication = None
Primary DNS address = 171.70.168.183
Secondary DNS address = 173.36.131.10
Profile 2 = ACTIVE
_____
PDP Type = IPv4
PDP address = 22.22.22.111
Access Point Name (APN) = mpdn
Authentication = None
Primary DNS address = 171.70.168.183
Secondary DNS address = 173.36.131.10
Profile 3 = INACTIVE
-----PDP Type = IPv4
Access Point Name (APN) = aaaauth
Authentication = None
Profile 4 = INACTIVE
_____
PDP Type = IPv4
Access Point Name (APN) = basic2
Authentication = None
 * - Default profile
 ** - LTE attach profile
Configured default profile for active SIM 0 is profile 1.
C800-router#sh cellular 0 connection
Profile 1, Packet Session Status = ACTIVE
Cellular0:
Data Transmitted = 600 bytes, Received = 500 bytes
IP address = 21.21.21.204
Primary DNS address = 171.70.168.183
Secondary DNS address = 173.36.131.10
Profile 2, Packet Session Status = ACTIVE
Cellular1:
Data Transmitted = 1800 bytes, Received = 1800 bytes
IP address = 22.22.22.111
Primary DNS address = 171.70.168.183
Secondary DNS address = 173.36.131.10
Profile 3, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 4, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 5, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 6, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 7, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 8, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 9, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 10, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 11, Packet Session Status = INACTIVE
```

```
Profile 12, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 13, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 14, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 15, Packet Session Status = INACTIVE
Profile 16, Packet Session Status = INACTIVE
C800-router#sh ip interface brief
                IP-Address
                                  OK?Method Status
Interface
                                                            Protocol
Cellular0
                      21.21.21.204
                                    YES IPCP
                                              up
                                                               up
                      22.22.22.111 YES IPCP
Cellular1
                                              up
                                                               up
FastEthernet0
                  unassigned YES unset up
                                                             up
                  unassigned
FastEthernet1
                                 YES unset down
                                                           down
                  unassigned
                                 YES unset down
FastEthernet2
                                                           down
FastEthernet3
                  unassigned
                                 YES unset down
                                                           down
GigabitEthernet0 unassigned YES NVRAM down
                                                       down
Loopback0
                  1.1.1.1
                                   up
YES NVRAM administratively down down
                                    YES NVRAM up
                                                               up
Serial0
                      unassigned
Vlan1
                         5.13.1.22
                                       YES NVRAM up
                                                                  up
Vlan2
                         72.119.152.9 YES NVRAM down
                                                             down
C800-router#show ip dns view
DNS View default parameters:
Logging is off
DNS Resolver settings:
 Domain lookup is disabled
 Default domain name:
 Domain search list:
 Lookup timeout: 3 seconds
  Lookup retries: 2
  Domain name-servers:
171.70.168.183
173.36.131.10
 DNS Server settings:
  Forwarding of queries is disabled
  Forwarder timeout: 3 seconds
  Forwarder retries: 2
```

## PLMN の検索および選択

Forwarder addresses: Forwarder addresses:

Cisco IOS リリース 15.5(3)M1 以降では、手動のパブリック ランド モバイル ネットワーク (PLMN)が Cisco 8xx ルータおよび EHWIC でサポートされます。この機能を使用すると、利用可能な PLMN を検索し、その PLMN の 1 つに接続できます。

### 機能制限

次の制約事項が、PLMN の検索と選択に適用されます。

- LTE 2.0 および MC73xx モデム シリーズ以上でサポートされます。
- お使いのセルラーサービスが、ローミングをサポートしているかどうかを確認する必要があります。
- ローミングをサポートする SIM カードを使用している必要があります。
- この機能は 4G+WiFi プラットフォームではサポートされません。
- サポート対象のファームウェアバージョンは 5.5.58.x 以降です。
- サポート対象の IOS リリースは、Cisco IOS リリース 15.5(3)M1 以降です。

#### コマンド

固定プラットフォームでは、次のコマンドを使用します。

- cellular x lte plmn search
- show cellular x network
- cellular x lte plmn select <mode> <mcc> <mnc> <rat> <duration>

EHWIC では、次のコマンドを使用します。

- cellular x/x/x lte plmn search
- show cellular x/x/x network
- cellular x/x/x lte plmn select <mode> <mcc> <mnc> <rat> <duration>

#### ネットワークの検索

12

ſ

234 15 lte

**cellular 0 Ite plmn search** コマンドを使用して、使用可能な PLMN を検索できます。次に、ネット ワークを検索する例を示します。

```
router#cellular 0 lte plmn search
Searching for available PLMNs.This may take up to 3 minutes.
Please wait.....
PLMN search done.Please use "show cellular 0 network" to see available PLMNS
```

検索後、show cellular 0 network コマンドを使用して使用可能なネットワークを参照します。

```
router#show cellular 0 network
Current System Time = Fri Sep 18 18:49:24 2015
Current Service Status = Normal
Current Service = Packet switched
Current Roaming Status = Roaming
Network Selection Mode = Manual
Network = O2 - UK
Mobile Country Code (MCC) = 234
Mobile Network Code (MNC) = 10
Packet switch domain(PS) state = Attached
Location Area Code (LAC) = 4931
Cell ID = 34319
Available PLMNs:
Idx MCC MNC RAT
                   Desc
                   02 - UK
   234 10 umts
1
2
   234 10 gsm
                   02 - UK
3
   234 20 umts
                   3 UK
4
   234 30 umts
                   ΕE
   234 15 gsm
5
                   voda UK
6
   234 33 gsm
                   ΕE
7
   234 20 lte
                   3 UK
8
   234 30 gsm
                   ΕE
9
   234 15 umts
                   voda UK
   234 30 lte
10
                   ΕE
11
   234 10 lte
                   02 - UK
```

voda UK

I

#### ネットワークの選択

使用可能なネットワークの選択方法には、自動モード、強制モード、手動モードの3つのタイプ があります。自動モードでは、ルータは SIM の選択するネットワークに自動的に接続します。強 制モードでは、ネットワークの検索をせずに、使用可能なネットワークか既知のネットワーク を、ルータに強制的に選択させます。ネットワークが使用できないか、ルータがネットワークに 接続できない場合は、ルータは「未接続」状態のままとなります。cellular x lte plmn select auto コ マンドを使用して、SIM の選択するネットワークに接続できます。手動モードでは、検索結果か ら使用可能なネットワークを選択できます。 次に、手動でネットワークを検索する例を示します。 router#cellular 0 lte plmn select manual ? <0-999> Mobile Country Code (MCC) router#cellular 0 lte plmn select manual 234 ? <0-999> Mobile Network Code (MNC) router#cellular 0 lte plmn select manual 234 10 ? qsm GSM 1te LTE umts UMTS router#cellular 0 lte plmn select manual 234 10 gsm ? permanent PERMANENT power-cycle POWER\_CYCLE router#cellular 0 lte plmn select manual 234 10 gsm powe router#cellular 0 lte plmn select manual 234 10 gsm power-cycle ? <cr> router#cellular 0 lte plmn select manual 234 10 gsm power-cycle 次に、強制的にネットワークを選択させる例を示します。 router#cellular 0 lte plmn select force ? <0-999> Mobile Country Code (MCC) router#cellular 0 lte plmn select force 310 ? <0-999> Mobile Network Code (MNC) router#cellular 0 lte plmn select force 310 410 ? <2-3> MNC Digits Ex 23 means 2 Digits, 023 Means 3 Digits router#cellular 0 lte plmn select force 310 410 2 ? qsm GSM lte LTE umts UMTS router#cellular 0 lte plmn select force 310 410 2 1 router#cellular 0 lte plmn select force 310 410 2 lte ? permanent PERMANENT power-cycle POWER\_CYCLE Router#cellular 0 lte plmn select force 310 410 2 lte power-cycle ? <cr> Router#cellular 0 lte plmn select force 310 410 2 lte power-cycle

#### **PLMN**の選択の確認

show cellular 0 network コマンドを使用して、PLMN の選択を確認できます。

```
router#show cellular 0 network
Current System Time = Fri Sep 18 18:53:25 2015
Current Service Status = Normal
Current Service = Packet switched
Current Roaming Status = Roaming
Network Selection Mode = Manual
Network = 02 - UK
Mobile Country Code (MCC) = 234
Mobile Network Code (MNC) = 10
Packet switch domain(PS) state = Attached
Location Area Code (LAC) = 4931
Cell ID = 34319
Available PLMNs:
Idx MCC MNC RAT
                  Desc
                 02 - UK
1
  234 10 umts
   234 10 gsm
                   02 - UK
2
3
   234 20 umts
                   3 UK
4
   234 30 umts
                   ΕE
5
   234 15 gsm
                   voda UK
   234 33
6
           gsm
                   ΕE
7
   234 20 lte
                   3 UK
8
   234 30 gsm
                   ΕE
   234 15 umts
9
                   voda UK
10 234 30 lte
                   EE
11 234 10 lte
                   02 - UK
12 234 15 lte
                   voda UK
router#show cellular 0 radio
Radio power mode = ON
Channel Number = 122
Current Band = GSM 900 Extended
Current RSSI = -48 dBm
Current ECIO = -127 dBm
Radio Access Technology(RAT) Preference = GSM
Radio Access Technology(RAT) Selected = EDGE
```



ネットワークによっては、ルータの接続が許可されない場合があります。このような場合は、別 のネットワークを選択する必要があります。

\$ (注)

ルータがネットワークに接続できない場合は、モデムを再起動します。

# モデムのファームウェアのアップグレード

表 6 では、Cisco 4G LTE EHWIC および Cisco 800 シリーズ 4G LTE ISR でサポートされる Sierra Wireless モデムについて説明します。モデムのファームウェアは、Cisco IOS コマンドを使用して アップグレードできます。ファームウェアは、Crossword Express (cwe) ファイルで、Cisco.com の ワイヤレス ソフトウェア ダウンロード ページからダウンロードできます。

(注)

I

ここで説明するファームウェアのアップグレード手順は、MC77xx モデムにのみ適用されます。 MC73xx モデムの手順を次に示します。 http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/routers/access/interfaces/firmware/Firmware\_Upgrade.html

Cisco 4G ワイヤレス WAN EHWIC

表 6	モデム <b>SKU</b>	と関連ファー	ムウェア
-----	----------------	--------	------

SKU	モデム	ファームウェア	リリース
EHWIC-4G-LTE-A	MC7700	3.5.29.02	15.5(3)M 以降
C819G-4G-A-K9			
C819HG-4G-A-K9			

シスコ認証ファームウェアだけを使用してください。シスコに認証されないファームウェア バージョンを使用した場合、ワイヤレス サービス プロバイダー ネットワークに悪影響が及ぶ場 合があります。

∕!∖ 注意

ファームウェア アップグレード プロセス中には、電源を切ったり、ルータのスイッチをオフにしたり、しないでください。これを行った場合、モデムがまったく動作しなくなる場合があります。



ファームウェア ダウングレードはサポートされていません。



3.5.x ファームウェアには 15.2(4)M3 以降のソフトウェア イメージが必須です。

## モデムのファームウェアの手動アップグレード

シスコでは、すべての新規導入および次の既存配置の場合、LTE モデムファームウェアおよび IOS ソフトウェアイメージの手動アップグレードプロセスを推奨します。

- LTE がプライマリ ISR WAN インターフェイスでない。
- LTE が唯一の ISR WAN インターフェイスでない。
- ネットワーク管理者に ISR へのアウトオブバンドまたはローカル アクセスがある。



次に示した手順と同じ手順で、無線を介してファームウェアをリモートにダウンロードするこ ともできます。

手順の概要

**ステップ1** 通信事業者の最新の認定ファームウェアをダウンロードするには、次のシスコの Web ページに アクセスしてください。

http://software.cisco.com/download/navigator.html



リモート ダウンロードの場合、4G ワイヤレス リンクを使用して、Cisco.com からフラッシュ上 に転送できます。インターフェイスおよびダイヤラを再度アップ状態にするには、外部ダイヤラ および固定ダイヤラを設定する必要があります。

- **ステップ 2** このページで、次のオプションから選択します。 [Products] -> [Cisco Interfaces and Modules] -> [Cisco High-Speed WAN Interface Cards]
- ステップ3 [Cisco High-Speed WAN interface Cards] をクリックして選択すると、使用できるカードが図 7 の ように3列目に表示されます。3列目でご使用の製品を選択し、適切な LTE ファームウェアをダ ウンロードします。

#### 図 7 シスコのソフトウェア ダウンロード Web ページ

Downloads Home > Products > Cisco Interfaces and Modules > Cisco High-Speed WAN Interface Cards



- **ステップ** 4 ロギング コンソールをイネーブルにします。
- **ステップ5** ファームウェアのアップグレード プロセスを開始します。

(注)

I

- リモート ダウンロードでは、ワイヤレスがプライマリ リンクの場合、接続が失われます。ダウン ロード後に、接続が回復します。ステップ 5 でロギングを選択した場合、フラッシュ上で、ダウン ロード ステータス付きのファームウェア ログ ファイルが参照可能になります。
- ステップ6 アップグレードプロセスを確認します。
- ステップ 7 ISR をリロードしてアップグレード プロセスを完了します。

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	次の Web サイトにある Cisco ワイヤレス WAN ソフトウェアのダウンロード Web サイトを表示 します。 http://software.cisco.com/download/navigator.html	Cisco ワイヤレス WAN ソフトウェアのダウンロード ページにアクセスできます。Cisco 4G のファーム ウェアを選択します。 (注) この Web サイトは、登録済みの Cisco.com ユーザのみが使用できます。
ステップ 2	このページで、次のオプションから選択します。 [Products] -> [Cisco Interfaces and Modules] -> [Cisco High-Speed WAN Interface Cards]	[Cisco High-Speed WAN interface Cards] を選択する と、使用できるカードが図 7 のように 3 列目に表示 されます。3 列目でご使用の製品を選択し、適切な LTE ファームウェアをダウンロードします。
ステップ 3	選択した LTE ファームウェア リリースをダウ ンロードします。	ルータのフラッシュ メモリに、モデムのファーム ウェア ファイルをダウンロードします。
ステップ 4	terminal monitor 例: Device# terminal monitor	特権 EXEC モードのロギング コンソールをイネーブ ルにします。
ステップ <b>5</b>	microcode reload cellular pa-bay slot modem-provision flash:filename 例: Device# microcode reload cellular 0 1 modem-provision flash: <filename>.cwe F/W Upgrade: Complete Successfully</filename>	<ul> <li>ファームウェアのアップグレードプロセスを開始します。</li> <li>pa-bay - EHWIC と Cisco 819、880 および 890 シ リーズ ISR の場合、0 を使用します。</li> <li>slot - EHWIC の場合、EHWIC が接続されている 0~3のスロット番号です。Cisco 819、880、890 4G LTE シリーズ ISR の場合は、0 を使用します。</li> <li>(注) リモートダウンロードの場合、ワイヤレス リ ンクを使用して、Cisco.com からフラッシュ上 に転送できます。アップグレード前にイン ターフェイスおよびダイヤラを再度アップ状 態にするには、外部ダイヤラおよび固定ダイ ヤラを設定する必要があります。</li> </ul>
ステップ <b>6</b>	Cisco 4G LTE EHWIC の場合: show cellular unit Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR、Cisco C880 シ リーズ 4G LTE ISR、Cisco C890 シリーズ 4G LTE ISR の場合: show cellular 0 hardware 例: Device# show cellular 0 hardware Modem Firmware Version = SWI9200X_03.05.10.02 Modem Firmware built = 2012/02/25 11:58:38	ファームウェアのアップグレード プロセスを確認し ます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 7	reload	IOS アプリケーション ソフトウェア イメージをリ
		ロードし、ファームウェア アップグレードを完了し
		ます。
		(注) 15.2(4)M3 以降の IOS ソフトウェアをリロー
		ドしていることを確認します。

#### MC7700 モデムファームウェアの手動アップグレード:例

```
Device# microcode reload cellular 0 0 modem-provision flash:MC7700_ATT_03.05.10.02_00.cwe
Reload microcode?[confirm] <hit enter key>
Log status of firmware download in router flash?[confirm] <hit enter key>
Firmware download status will be logged in flash:fwlogfile
Microcode Reload Process launched for Cellular 37946756; hw type = 0x6F3
Device#
The interface will be Shut Down for Firmware Upgrade
This will terminate any active data connections.
******
Modem radio has been turned off
Modem will be upgraded!
Upgrade process will take up to 15 minutes.During
this time the modem will be unusable.
Please do not remove power or reload the router during
the upgrade process.
       *****
Sending F/W[MC7700_ATT_03.05.10.02_00.cwe] to the card [41569157 bytes]:
Firmware file: MC7700_ATT_03.05.10.02_00.cwe sent to the card
The current modem F/W App Version: SWI9200X_01.00.03.01AP R2492 CARMD-EN-10526 2011/07/01
19:31:09
The current modem F/W Boot Version: SWI9200X_01.00.03.01BT R2492 CARMD-EN-10526 2011/07/01
19:28:52
The current modem Carrier String: 5
The current modem Device ID: MC7700
The current modem Package Identifier: MC7700_01.00.03.01_00_vzw_020.006_001
The current modem SKU ID: 1584083
FW UPgrade: In the progress.
*Feb 21 23:39:35.407: %CISCO800-2-MODEM_DOWN: Cellular0 modem is now DOWN.
F/W Upgrade: Complete Successfully
*Feb 21 23:42:00.475: %CISCO800-2-MODEM_UP: Cellular0 modem is now UP.
*Feb 21 23:42:00.475: %CISCO800-2-MODEM_DOWN: Cellular0 modem is now DOWN.
*Feb 21 23:42:05.475: %CISCO800-2-MODEM_UP: Cellular0 modem is now UP.
Modem radio has been turned on
Device#show cellular 0 hardware | incl Modem Firmware Version
Modem Firmware Version = SWI9200X 03.05.10.02
```

### MC7710 モデムファームウェアの手動アップグレード:例

```
This will terminate any active data connections.
Modem radio has been turned off
Modem will be upgraded!
Upgrade process will take up to 15 minutes. During
this time the modem will be unusable.
Please do not remove power or reload the router during
the upgrade process.
Sending F/W[MC7710_Global_03.05.19.04_00.cwe] to the card [41569157 bytes]:
Firmware file: MC7710_Global_03.05.19.04_00.cwe sent to the card
The current modem F/W App Version: SWI9200X_03.00.11.00AP R2492 CARMD-EN-10526 2011/07/01
19:31:09
The current modem F/W Boot Version: SWI9200X_03.00.11.00BT R2492 CARMD-EN-10526 2011/07/01
19:28:52
The current modem Carrier String: 5
The current modem Device ID: MC7710
The current modem Package Identifier: MC7710_03.00.11.00_00_vzw_020.006_001
The current modem SKU ID: 1584083
FW UPgrade: In the progress.
*Feb 21 23:39:35.407: %CISCO800-2-MODEM_DOWN: Cellular0 modem is now DOWN.
F/W Upgrade: Complete Successfully
*Feb 21 23:42:00.475: %CISCO800-2-MODEM_UP: Cellular0 modem is now UP.
*Feb 21 23:42:00.475: %CISCO800-2-MODEM_DOWN: Cellular0 modem is now DOWN.
*Feb 21 23:42:05.475: %CISCO800-2-MODEM_UP: Cellular0 modem is now UP.
Modem radio has been turned on
Device# show cellular 0 hardware | incl Modem Firmware Version
Modem Firmware Version = SWI9200X_03.05.19.04
```

#### MC7750 モデム ファームウェアの手動アップグレード:例

```
Device# microcode reload cellular 0 0 modem-provision flash:MC7750_VZW_03.05.10.06_00.cwe
Reload microcode?[confirm] <hit enter key>
Log status of firmware download in router flash?[confirm] <hit enter key>
Firmware download status will be logged in flash: fwlogfile
Microcode Reload Process launched for Cellular 37946756; hw type = 0x6F3
Device#
The interface will be Shut Down for Firmware Upgrade
This will terminate any active data connections.
Modem radio has been turned off
Modem will be upgraded!
Upgrade process will take up to 15 minutes.During
this time the modem will be unusable.
Please do not remove power or reload the router during
the upgrade process.
Sending F/W[MC7750_VZW_03.05.10.06_00.cwe] to the card [41569157 bytes]:
Firmware file: MC7750_VZW_03.05.10.06_00.cwe sent to the card
The current modem F/W App Version: SWI9600M_01.00.09.03AP R2492 CARMD-EN-10526 2011/07/01
19:31:09
The current modem F/W Boot Version: SWI9600M_01.00.09.03BT R2492 CARMD-EN-10526 2011/07/01
19:28:52
The current modem Carrier String: 5
The current modem Device ID: MC7750
The current modem Package Identifier: MC7750_01.00.09.03_00_vzw_020.006_001
The current modem SKU ID: 1584083
```

FW UPgrade: In the progress.
\*Feb 21 23:39:35.407: %CISCO800-2-MODEM\_DOWN: Cellular0 modem is now DOWN.
F/W Upgrade: Complete Successfully
\*Feb 21 23:42:00.475: %CISCO800-2-MODEM\_UP: Cellular0 modem is now UP.
\*Feb 21 23:42:00.475: %CISCO800-2-MODEM\_DOWN: Cellular0 modem is now DOWN.
\*Feb 21 23:42:05.475: %CISCO800-2-MODEM\_UP: Cellular0 modem is now UP.
Modem radio has been turned on
Device#show cellular 0 hardware | incl Modem Firmware Version
Modem Firmware Version = SWI9600M\_03.05.10.06

## EEM スクリプトを使用したモデムファームウェアのアップグレード

LTE が唯一の WAN インターフェイスである既存フィールド展開で、ISR へのローカルまたはア ウトオブバンドの管理アクセスが存在しない場合、Cisco IOS の組み込みイベント マネージャ (EEM)スクリプトを使用した自動アップグレード方法が推奨されています。EEM スクリプトは ファームウェアをアップグレードし、新しいファームウェア リリースと互換性のある IOS ソフ トウェア イメージを ISR にリロードします。

### モデムファームウェアのダウンロードと EEM スクリプトのインストール

#### 手順の概要

ſ

**ステップ1** 通信事業者の最新の認定ファームウェアをダウンロードするには、次のシスコの Web ページに アクセスしてください。

http://software.cisco.com/download/navigator.html

- (注) リモート ダウンロードの場合、4G ワイヤレス リンクを使用して、Cisco.com からフラッシュ上 に転送できます。インターフェイスおよびダイヤラを再度アップ状態にするには、外部ダイヤラ および固定ダイヤラを設定する必要があります。
- **ステップ 2** このページで、次のオプションから選択します。 [Products] -> [Cisco Interfaces and Modules] -> [Cisco High-Speed WAN Interface Cards]
- ステップ3 [Cisco High-Speed WAN interface Cards] をクリックして選択すると、使用できるカードが図7の ように3列目に表示されます。3列目でご使用の製品を選択し、適切なLTEファームウェアをダ ウンロードします。
- ステップ 4 3 列目で製品を選択し、ルータのフラッシュメモリに適切な LTE ファームウェアをダウンロー ドします。
- ステップ 5 実行コンフィギュレーションから、boot system flash: コマンドをすべて削除します。
- **ステップ 6** ロギング コンソールをイネーブルにします。
- ステップ 7 configure terminal
- ステップ8 ルータに EEM スクリプトをインストールします。
- **ステップ 9** ポリシーが登録されていることを確認します。

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	次のWebサイトにあるCiscoワイヤレスWAN ソフトウェアのダウンロードWebサイトを表 示します。 http://software.cisco.com/download/navigator.html	Cisco ワイヤレス WAN ソフトウェアのダウンロード ページにアクセスできます。Cisco 4G のファーム ウェアを選択します。 (注) この Web サイトは、登録済みの Cisco.com ユーザのみが使用できます。
ステップ <b>2</b>	このページで、次のオプションから選択します。 [Products] -> [Cisco Interfaces and Modules] -> [Cisco High-Speed WAN Interface Cards]	[Cisco High-Speed WAN interface Cards] を選択する と、使用できるカードが図 7のように3列目に表示さ れます。3 列目でご使用の製品を選択し、適切な LTE ファームウェアをダウンロードします。
ステップ 3	選択した LTE ファームウェア リリースをダウ ンロードします。	ルータのフラッシュ メモリに、モデムのファーム ウェア ファイルをダウンロードします。
ステップ 4	no boot system flash:filename 例: Device(config)# no boot system flash:cxxx-universalk9-mz.SPA.152-4.M2	グローバル コンフィギュレーション モードで、実行 コンフィギュレーションから boot system flash: コマ ンドをすべて削除します。
ステップ 5	terminal monitor 例: Device# terminal monitor	特権 EXEC モードのロギング コンソールをイネーブ ルにします。
ステップ 6	configure terminal 例: Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始し ます。
ステップ <b>1</b>	ご使用のモデムの EEM Script 1 と EEM Script 2 をコピーし(この項の続く部分を参照してくだ さい)、このテキストをルータの実行コンフィ ギュレーションにペーストします。	<ul> <li>ルータに EEM スクリプトをインストールします。</li> <li>(注) この EEM は、ISR が最初に LTE 用 IOS 暫定イメージを実行すると仮定して作成されています。ルータが IOS 15.2(4)M2 を実行している場合、実行前にスクリプトの次の行を置き換えてください。</li> <li>action 1.3.4 set old_IOS         "c\$platform-universalk9-mz.SSA.V152_4_M_LT         E"</li> <li>次のように置き換え:         action 1.3.4 set old_IOS         "c\$platform-universalk9-mz.SPA.152-4.M2"</li> </ul>
ステップ 8	show event manager policy registered 例: Device# show event manager policy registered	ポリシーが登録されていることを確認します。 (注) スクリプトの各行が正常に登録されたことを 確認します。

#### MC7700 モデムの EEM スクリプト1

ſ

```
event manager applet FW authorization bypass
event none maxrun 1200
action 1.0 if $_none_argc ne "1"
action 1.0.1 syslog msg "Incorrect number of arguments passed.Please check and try again"
action 1.0.2 exit
action 1.0.3 end
action 1.1 cli command "enable"
action 1.2 set slot_number "$_none_arg1"
action 1.3 cli command "show version | incl System image file"
action 1.3.1 regexp "(.*)c(.*)-universalk9-(.*)\"""$_cli_result" _match _sub1 _sub2 _sub3
action 1.3.2 set platform "$_sub2"
action 1.3.3 set current_IOS "c$_sub2-universalk9-$_sub3"
action 1.3.4 set old_IOS "c$platform-universalk9-mz.SPA.152-4.M2"
action 1.3.5 set new_IOS "c$platform-universalk9-mz.SPA.152-4.M3"
action 1.3.6 set firmware "MC7700_ATT_03.05.10.02_00.cwe"
action 1.3.7 set old_firmware "SWI9200X_01.00.03.01"
action 1.3.8 set new_firmware "SWI9200X_03.05.10.02"
action 1.4 if $platform eq "800"
action 1.4.1 set cellular_interface 0
action 1.5 else
action 1.5.1 set cellular_interface "0/$slot_number/0"
action 1.5.2 end
action 1.6 cli command "show cellular $cellular_interface hardware | incl Modem Firmware
Version"
action 1.7 string first "$new_firmware" "$_cli_result"
action 1.8 if $_string_result ge 0
action 1.8.1 syslog msg "Modem is already on new firmware $new_firmware.Exiting upgrade!!"
action 1.8.2 exit
action 1.8.3 end
action 2.1 if $current_IOS ne $old_IOS
action 2.1.1 syslog msg "Current IOS version is incorrect.Please run $old_IOS before
starting upgrade.Exiting upgrade!!"
action 2.1.2 exit
action 2.2 end
action 2.3 cli command "show flash: | incl $new_IOS"
action 3.0 string first "$new_IOS" "$_cli_result"
action 3.1 if $_string_result 1t 0
action 3.1.1 syslog msg "$new_IOS is not present in flash.Exiting upgrade!!"
action 3.1.2 exit
action 3.2 end
action 3.3 cli command "show flash: | incl $firmware"
action 5.0 string first "$firmware" "$_cli_result"
action 5.1 if $_string_result 1t 0
action 5.1.1 syslog msg "$firmware is not present in flash.Exiting upgrade!!"
action 5.1.2 exit
action 5.2 end
action 5.3 cli command "configure terminal"
action 5.4 cli command "no boot system"
action 5.5 cli command "end"
action 6.1 cli command "microcode reload cellular 0 $slot_number modem-provision
flash:$firmware" pattern "confirm"
action 6.2 cli command "y"
action 6.3 wait 400
action 6.4 cli command "event manager run router_reload $old_IOS $new_IOS $old_firmware
$cellular interface"
action 6.5 wait 120
action 6.6 exit
```

#### MC7700 モデムの EEM スクリプト2

```
event manager applet router_reload authorization bypass
event none maxrun 120
action 1.0 set old_IOS "$_none_arg1"
action 1.1 set new_IOS "$_none_arg2"
action 1.2 set old_firmware "$_none_arg3"
action 1.3 set cellular_interface "$_none_arg4"
action 1.4 cli command "enable"
action 2.0 cli command "show cellular $cellular_interface hardware | inc Modem Firmware
Version"
action 2.1 set _string_result "0"
action 2.2 string first "$old_firmware" "$_cli_result"
action 2.3 if $_string_result ge "0"
action 2.3.1 set boot_IOS "$old_IOS"
action 2.3.2 syslog msg "Firmware did not Upgrade successfully.Please try again after
reload"
action 2.4 else
action 2.4.1 set boot_IOS "$new_IOS"
action 2.4.2 syslog msg "Firmware upgraded successfully. value= $_string_result"
action 2.4.3 end
action 2.5 cli command "configure terminal"
action 2.5.1 cli command "boot system flash: $boot_IOS"
action 2.5.2 cli command "config-register 0x2102"
action 2.5.3 cli command "interface cellular $cellular_interface"
action 2.5.4 cli command "no shut"
action 2.5.5 cli command "end"
action 2.5.6 cli command "write memory"
action 2.5.7 reload
```

#### MC7710 モデムの EEM スクリプト1

```
event manager applet FW authorization bypass
event none maxrun 1200
action 1.0 if $_none_argc ne "1"
action 1.0.1 syslog msg "Incorrect number of arguments passed.Please check and try again"
action 1.0.2 exit
action 1.0.3 end
action 1.1 cli command "enable"
action 1.2 set slot_number "$_none_arg1"
action 1.3 cli command "show version | incl System image file"
action 1.3.1 regexp "(.*)c(.*)-universalk9-(.*)\"""$_cli_result" _match _sub1 _sub2 _sub3
action 1.3.2 set platform "$_sub2"
action 1.3.3 set current_IOS "c$_sub2-universalk9-$_sub3"
action 1.3.4 set old_IOS "c$platform-universalk9-mz.SPA.152-4.M2"
action 1.3.5 set new_IOS "c$platform-universalk9-mz.SPA.152-4.M3"
action 1.3.6 set firmware "MC7710_Global_03.05.19.04_00.cwe"
action 1.3.7 set old_firmware "SWI9200X_03.00.11.00"
action 1.3.8 set new_firmware "SWI9200X_03.05.19.04"
action 1.4 if $platform eg "800"
action 1.4.1 set cellular_interface 0
action 1.5 else
action 1.5.1 set cellular_interface "0/$slot_number/0"
action 1.5.2 end
action 1.6 cli command "show cellular $cellular_interface hardware | incl Modem Firmware
Version"
action 1.7 string first "$new_firmware" "$_cli_result"
action 1.8 if $_string_result ge 0
action 1.8.1 syslog msg "Modem is already on new firmware $new_firmware.Exiting upgrade!!"
action 1.8.2 exit
action 1.8.3 end
action 2.1 if $current_IOS ne $old_IOS
```

```
action 2.1.1 syslog msg "Current IOS version is incorrect.Please run $old_IOS before
starting upgrade.Exiting upgrade!!"
action 2.1.2 exit
action 2.2 end
action 2.3 cli command "show flash: | incl $new_IOS"
action 3.0 string first "$new_IOS" "$_cli_result"
action 3.1 if $_string_result lt 0
action 3.1.1 syslog msg "$new_IOS is not present in flash.Exiting upgrade!!"
action 3.1.2 exit
action 3.2 end
action 3.3 cli command "show flash: | incl $firmware"
action 5.0 string first "$firmware" "$_cli_result"
action 5.1 if $_string_result 1t 0
action 5.1.1 syslog msg "$firmware is not present in flash.Exiting upgrade!!"
action 5.1.2 exit
action 5.2 end
action 5.3 cli command "configure terminal"
action 5.4 cli command "no boot system"
action 5.5 cli command "end"
action 6.1 cli command "microcode reload cellular 0 $slot_number modem-provision
flash:$firmware" pattern "confirm"
action 6.2 cli command "y"
action 6.3 wait 400
action 6.4 cli command "event manager run router_reload $old_IOS $new_IOS $old_firmware
$cellular_interface"
action 6.5 wait 120
action 6.6 exit
```

#### MC7710 モデムの EEM スクリプト2

ſ

```
event manager applet router_reload authorization bypass
event none maxrun 120
action 1.0 set old_IOS "$_none_arg1"
action 1.1 set new_IOS "$_none_arg2"
action 1.2 set old_firmware "$_none_arg3"
action 1.3 set cellular_interface "$_none_arg4"
action 1.4 cli command "enable"
action 2.0 cli command "show cellular $cellular_interface hardware | inc Modem Firmware
Version"
action 2.1 set _string_result "0"
action 2.2 string first "$old_firmware" "$_cli_result"
action 2.3 if $_string_result ge "0"
action 2.3.1 set boot_IOS "$old_IOS"
action 2.3.2 syslog msg "Firmware did not Upgrade successfully.Please try again after
reload"
action 2.4 else
action 2.4.1 set boot_IOS "$new_IOS"
action 2.4.2 syslog msg "Firmware upgraded successfully. value= $_string_result"
action 2.4.3 end
action 2.5 cli command "configure terminal"
action 2.5.1 cli command "boot system flash:$boot_IOS"
action 2.5.2 cli command "config-register 0x2102"
action 2.5.3 cli command "interface cellular $cellular_interface"
action 2.5.4 cli command "no shut"
action 2.5.5 cli command "end"
action 2.5.6 cli command "write memory"
action 2.5.7 reload
```

#### MC7750 モデムの EEM スクリプト1

```
event manager applet FW authorization bypass
event none maxrun 1200
action 1.0 if $_none_argc ne "1"
action 1.0.1 syslog msg "Incorrect number of arguments passed.Please check and try again"
action 1.0.2 exit
action 1.0.3 end
action 1.1 cli command "enable"
action 1.2 set slot_number "$_none_arg1"
action 1.3 cli command "show version | incl System image file"
action 1.3.1 regexp "(.*)c(.*)-universalk9-(.*)\"""$_cli_result" _match _sub1 _sub2 _sub3
action 1.3.2 set platform "$_sub2"
action 1.3.3 set current_IOS "c$_sub2-universalk9-$_sub3"
action 1.3.4 set old_IOS "c$platform-universalk9-mz.SSA.V152_4_M_LTE"
action 1.3.5 set new_IOS "c$platform-universalk9-mz.SPA.152-4.M3"
action 1.3.6 set firmware "MC7750_VZW_03.05.10.06_00.cwe"
action 1.3.7 set old_firmware "SWI9600M_01.00.09.03"
action 1.3.8 set new_firmware "SWI9600M_03.05.10.06"
action 1.4 if $platform eq "800"
action 1.4.1 set cellular_interface 0
action 1.5 else
action 1.5.1 set cellular_interface "0/$slot_number/0"
action 1.5.2 end
action 1.6 cli command "show cellular $cellular_interface hardware | incl Modem Firmware
Version"
action 1.7 string first "$new_firmware" "$_cli_result"
action 1.8 if $_string_result ge 0
action 1.8.1 syslog msg "Modem is already on new firmware $new_firmware.Exiting upgrade!!"
action 1.8.2 exit
action 1.8.3 end
action 2.1 if $current_IOS ne $old_IOS
action 2.1.1 syslog msg "Current IOS version is incorrect.Please run $old_IOS before
starting upgrade.Exiting upgrade!!"
action 2.1.2 exit
action 2.2 end
action 2.3 cli command "show flash: | incl $new_IOS"
action 3.0 string first "$new_IOS" "$_cli_result"
action 3.1 if $_string_result 1t 0
action 3.1.1 syslog msg "$new_IOS is not present in flash.Exiting upgrade!!"
action 3.1.2 exit
action 3.2 end
action 3.3 cli command "show flash: | incl $firmware"
action 5.0 string first "$firmware" "$_cli_result"
action 5.1 if $_string_result lt 0
action 5.1.1 syslog msg "$firmware is not present in flash.Exiting upgrade!!"
action 5.1.2 exit
action 5.2 end
action 5.3 cli command "configure terminal"
action 5.4 cli command "no boot system"
action 5.5 cli command "end"
action 6.1 cli command "microcode reload cellular 0 $slot_number modem-provision
flash:$firmware" pattern "confirm"
action 6.2 cli command "y"
action 6.3 wait 400
action 6.4 cli command "event manager run router_reload $old_IOS $new_IOS $old_firmware
$cellular interface"
action 6.5 wait 120
action 6.6 exit
```

#### MC7750 モデムの EEM スクリプト2

```
event manager applet router_reload authorization bypass
event none maxrun 120
action 1.0 set old_IOS "$_none_arg1"
action 1.1 set new_IOS "$_none_arg2"
action 1.2 set old_firmware "$_none_arg3"
action 1.3 set cellular_interface "$_none_arg4"
action 1.4 cli command "enable"
action 2.0 cli command "show cellular $cellular_interface hardware | inc Modem Firmware
Version"
action 2.1 set _string_result "0"
action 2.2 string first "$old_firmware" "$_cli_result"
action 2.3 if $_string_result ge "0"
action 2.3.1 set boot_IOS "$old_IOS"
action 2.3.2 syslog msg "Firmware did not Upgrade successfully.Please try again after
reload"
action 2.4 else
action 2.4.1 set boot_IOS "$new_IOS"
action 2.4.2 syslog msg "Firmware upgraded successfully. value= $_string_result"
action 2.4.3 end
action 2.5 cli command "configure terminal"
action 2.5.1 cli command "boot system flash:$boot_IOS"
action 2.5.2 cli command "config-register 0x2102"
action 2.5.3 cli command "interface cellular $cellular_interface"
action 2.5.4 cli command "no shut"
action 2.5.5 cli command "end"
action 2.5.6 cli command "write memory"
action 2.5.7 reload
```

### モデム アップグレード EEM スクリプトのルータでの実行

#### 手順の概要

ステップ 1	event manager	run fw	slot-number
--------	---------------	--------	-------------

ステップ 2 show cellular *slot* hardware

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	event manager run fw slot-number	EHWIC-4G-LTE スロット番号を指定します。
	例: Device# event manager run fw 1	<ul> <li>(注) 800 シリーズ 4G LTE ISR プラットフォームの場合、スロット番号は0です。1900、2900、3900 プラットフォームと EHWIC の場合、スロット番号は EHWIC-4G-LTE が挿入されたISR スロットを指定します。</li> </ul>
ステップ 2	<pre>show cellular slot hardware 勿: Device# show cellular 0 hardware Modem Firmware Version = SWI9200X_03.05.10.02 Modem Firmware built = 2012/02/25 11:58:38</pre>	アップグレードが成功したことを確認します。アッ プグレードが成功した場合は、例に示すようなメッ セージが表示されます。

### モデムアップグレード成功後の EEM スクリプトのルータからの削除

#### 手順の概要

ステップ 1	configure terminal
ステップ 2	no event manager applet FW
ステップ 3	no event manager applet router_reload
ステップ 4	end
ステップ 5	write memory

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始し ます。
	例:	
	Device# configure terminal	
ステップ <b>2</b>	no event manager applet applet-name 例:	組み込みイベント マネージャ(EEM)からアプレット の登録を解除し、このアプレットのアプレット コン フィギュレーション モードを開始します。
	<pre>Device(config)# no event manager applet FW Device(config)# no event manager applet router_reload</pre>	
ステップ 3	end	グローバル コンフィギュレーション モードを終了 し、特権 EXEC モードを開始します。
	例:	
	Device(config)# <b>end</b>	
ステップ 4	write memory	ISR の NVRAM に実行コンフィギュレーションを保存します。
	例:	
	Device# write memory	

## **SNMP MIB**

次の Simple Management Network Protocol (SNMP) MIB は、Cisco 4G LTE WWAN EHWIC、Cisco 819 シリーズ 4G LTE ISR および Cisco C880 シリーズ 4G LTE ISR および Cisco C890 シリーズ 4G LTE シリーズ ISR でサポートされています。

- IF-MIB
- ENTITY-MIB
- CISCO-WAN-3G-MIB

CISCO-WAN-3G-MIB では、次のテーブルとサブテーブルが 3G および LTE テクノロジー向けに サポートされています。

- ciscoWan3gMIB(661)
- ciscoWan3gMIBNotifs(0)

- ciscoWan3gMIBObjects(1)
- c3gWanCommonTable(1)
- c3gWanGsm(3)
- c3gGsmIdentityTable(1)
- c3gGsmNetworkTable(2)
- c3gGsmPdpProfile(3)
- c3gGsmPdpProfileTable(1)
- c3gGsmPacketSessionTable(2)
- c3gGsmRadio(4)
- c3gGsmRadioTable(1)
- c3gGsmSecurity(5)
- c3gGsmSecurityTable(1)

http://www.cisco.com/go/mibs の Cisco MIB Locator から MIB をダウンロードできます。

### SNMP 4G LTE の設定:例

ſ

次の例に、SNMP 機能をルータに設定する方法を示します。

```
snmp-server group neomobilityTeam v3 auth notify 3gView
snmp-server view 3gView ciscoWan3gMIB included
snmp-server community neomobility-test RW
snmp-server community public RW
snmp-server enable traps c3g
snmp-server host 172.19.153.53 neomobility c3g
snmp-server host 172.19.152.77 public c3g
snmp-server host 172.19.152.77 public udp-port 6059
```

次の例に、SNMP を介してルータと通信するよう外部ホストデバイスを設定する方法を示します。

setenv SR\_MGR\_CONF\_DIR /users/<userid>/mibtest
setenv SR\_UTIL\_COMMUNITY neomobility-test
setenv SR\_UTIL\_SNMP\_VERSION -v2c
setenv SR\_TRAP\_TEST\_PORT 6059

# トラブルシューティング

このセクションは、Cisco 4G-LTE ワイヤレス WAN EHWIC のトラブルシューティングのために 必要なバックグラウンド情報および使用可能なリソースについて説明します。

LED の説明については、『Cisco 4G LTE Wireless WAN EHWIC』を参照してください。

- データコール設定の確認(94ページ)
- 信号強度の確認(94ページ)
- サービスアベイラビリティの確認(94ページ)
- 正しいコール設定(96ページ)
- 統合モデム DM ロギングを使用したモデムのトラブルシューティング(96ページ)
- 700 MHz の帯域で運用する北米向け通信事業者のモデム設定(97 ページ)

### データ コール設定の確認

データ コール設定を確認するには、次の手順に従います。

- ステップ1 cellular profile create コマンドを使用してモデム データ プロファイルを作成し、セルラー イン ターフェイスで DDR を設定した後、ルータからワイヤレス ネットワーク経由でホストに ping を送信します。
- **ステップ 2** ping に失敗した場合、次の debug および show コマンドを使用してこの失敗をデバッグします。
  - debug chat
  - debug modem
  - debug dialer
  - show cellular all
  - show interface cellular
  - show running-config
  - show ip route

ステップ3 これらのコマンドの出力を保存し、システム管理者に問い合わせます。

## 信号強度の確認

**Received Signal Strength Indication**(**RSSI**)レベルが非常に低い場合(たとえば、-110 dBm 未満の場合)、次の手順に従います。

- **ステップ1** アンテナ接続を確認します。TNC コネクタが適切に取り付けられ、しっかり締め付けられている ことを確認します。
- **ステップ2** リモート アンテナを使用している場合、アンテナ クレードルを移動して RSSI が改善されたか どうかを確認します。
- **ステップ3** ワイヤレス サービス プロバイダーに問い合わせて、ユーザのいるエリアにサービス アベイラビ リティがあるかどうかを確認します。

## サービス アベイラビリティの確認

次に、アンテナが取り外され、モデムデータプロファイルが作成されていないシナリオの show cellular all コマンドの出力例を示します。ここでのエラーは、>>>>>> で強調表示されています。

```
Device# show cellular 0/0/0 all
```

```
Hardware Information
```

```
modem Firmware Version = SWI9600M_01.00.09.03
Modem Firmware built = 2011/07/01 19:31:09
Hardware Version = 20460000
International Mobile Subscriber Identity (IMSI) = <specific sim number>
International Mobile Equipment Identity (IMEI) = <specific modem number>
```

```
Electronic Serial Number (ESN) = <specific ESN in Hex> [specific ESN in Dec]
Integrated Circuit Card ID (ICCID) = <specific ICCID number>
Mobile Subscriber International Subscriber
IDentity Number (MSISDN) = <specific phone number>
Profile Information
* - Default profile >>>>> no profile here.
Data Connection Information
Profile 1, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 2, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 3, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 4, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 5, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 6, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 7, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 8, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 9, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 10, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 11, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 12, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 13, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 14, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 15, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Profile 16, Packet Session Status = INACTIVE
       Inactivity Reason = Normal inactivate state
Network Information
```

```
Current Service Status = No service, Service Error = None >>>>> no service means not
connected to the network.
Current Service = Packet Switched
Current Roaming Status = Home
Network Selection Mode = Automatic
Country = , Network =
Mobile Country Code (MCC) = 0
Mobile Network Code (MNC) = 0
```

### 正しいコール設定

次に、CHAT スクリプトを使用してコールが設定されている場合の出力例を示します。ネット ワークから受信した IP アドレスが表示されます。コール設定が正常に行われ、データパスが開 いています。

debugs

debug modem debup chat

```
Device#
Aug 25 18:46:59.604: CHATO/0/0: Attempting async line dialer script
Aug 25 18:46:59.604: CHATO/0/0: Dialing using Modem script: lte & System script: none
Aug 25 18:46:59.604: CHAT0/0/0: process started
Aug 25 18:46:59.604: CHAT0/0/0: Asserting DTR
Aug 25 18:46:59.604: CHAT0/0/0: Chat script lte started
Aug 25 18:46:59.604: CHAT0/0/0: Sending string: AT!CALL
Aug 25 18:46:59.604: CHAT0/0/0: Expecting string: OK
Aug 25 18:47:00.641: CHAT0/0/0: Completed match for expect: OK
Aug 25 18:47:00.641: CHAT0/0/0: Chat script lte finished, status = Success
Aug 25 18:47:00.641: TTY0/0/0: no timer type 1 to destroy
Aug 25 18:47:00.641: TTY0/0/0: no timer type 0 to destroy
Aug 25 18:47:00.641: TTY0/0/0: no timer type 2 to destroy
Aug 25 18:47:02.642: %LINK-3-UPDOWN: Interface Cellular0/0/0, changed state to up
Aug 25 18:47:02.642: %DIALER-6-BIND: Interface Ce0/0/0 bound to profile Dil
Aug 25 18:47:03.642: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Cellular0/0/0,
changed state to up (69.78.96.14) [OK]
```

## 統合モデム DM ロギングを使用したモデムのトラブルシューティング

Cisco IOS リリース 15.2(4)M2 および Cisco IOS リリース 15.3(1)T の 3G および 4G の有用性強 化の一貫として、DM ログ収集が Cisco IOS に統合され、外部 PC の必要性がなくなり、DM ログ収 集プロセスがシンプルになりました。コントローラセルラーコンフィギュレーションモードで Ite modem dm-log コマンドを使用して、統合 DM ロギングがモデム上のトラフィックをモニタ するよう設定できます。統合 DM ロギングのパラメータの詳細については、『Cisco 3G and 4G Serviceability Enhancement User Guide』を参照してください。

## 700 MHz の帯域で運用する北米向け通信事業者のモデム設定

北米での HWIC-3G 構成の場合、および 700 MHz の帯域で運用する通信事業者の場合、ネット ワーク接続時間が長くならないようにモデム設定を次のように変更する必要があります。

show cellular x/x/x all コマンドの出力は次のことを示します。

- Current RSSI is -125 dBM
- LTE Technology Preference = No preference specified (AUTO)

#### モデム設定の変更

モデムに異なる技術をスキャンすることを強制するためにモデム設定を変更するには、以下の Cisco IOS コマンドを使用します。

```
Device# cellular 0/0/0 lte technology
```

```
autoAutomatic LTE Technology Selectioncdma-lxrttCDMA 1xRTTcdma-evdoCDMA EVDO Rev Acdma-hybridHYBRID CDMAgsmGSMlteLTEumtsUMTS
```

#### **Electronic Serial Number (ESN)**

ESN 番号は、16 進数表記でモデム ラベルに直接記載されています。または、Cisco IOS CLI で show cellular *slot/port/hwic* hardware コマンドを使用して取得することもできます。

ESN 番号の出力例は、次のとおりです。

# その他の関連資料

### 関連資料

I

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS コマンド	[Cisco IOS Master Commands List, All Releases]
	http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/mcl/allreleasemcl/all_book.html
	• <i>Configuring Cisco EHWIC and 880G for 3G (EV-DO Rev A)</i>
	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/1800/1861/software/feat ure/guide/mrwls_evdo.html
	• [Configuring 3G Wireless WAN on Modular and Fixed ISRs (HWIC-3G-CDMA, HWIC-3G-CDMA-x, and PCEX-3G-CDMA-x)]
	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/1800/1861/software/feat ure/guide/mrwlcdma.html

 関連項目	マニュアル タイトル
4G LTE EHWIC および Cisco 819 ISR コ マンド	<b>Cisco IOS Dial Technologies Command Reference </b>
ハードウェアの概要とインストール	[Cisco 4G-LTE Wireless WAN EHWIC]
	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/interfaces/ic/hardware/in stallation/guide/EHWIC-4G-LTEHW.html
サポートされるシスコのアンテナおよ	[Installing Cisco Interface Cards in Cisco Access Routers]
びケーブル	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/interfaces/ic/ hardware/installation/guide/inst_ic.html
	• [Cisco 4G/3G Omnidirectional Dipole Antenna (4G-LTE-ANTM-D)]
	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/wireless/hardware/notes/ 4G3G_ant.html
	<ul> <li> <i>[Cisco 4G Indoor Ceiling-Mount Omnidirectional Antenna</i> <i>(4G-ANTM-OM-CM) ]</i> </li> </ul>
	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/wireless/hardware/ notes/antcm4gin.html
	<ul> <li> <i>Cisco Outdoor Omnidirectional Antenna for 2G/3G/4G Cellular</i> (ANT-4G-OMNI-OUT-N)         <i>Antenna for 2G/3G/4G Cellular Antenna for 2G/3G/4G Cellular Ante</i></li></ul>
	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/connectedgrid/antennas/installing/Outdoor_Omni_for_2G_3G_4G_Cellular.html
	<ul> <li> <i>Cisco Integrated 4G Low-Profile Outdoor Saucer Antenna (ANT-4G-SR-OUT-TNC) [</i></li></ul>
	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/connectedgrid/antennas/installing/4G_LowProfile_Outdoor_Saucer.html
	• [Cisco Single-Port Antenna Stand for Multiband TNC Male-Terminated Portable Antenna (Cisco 4G-AE015-R, Cisco 4G-AE010-R)]
	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/wireless/hardware/notes/ 4Gantex15-10r.html
	• [Cisco 4G Lightning Arrestor (4G-ACC-OUT-LA)]
	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/wireless/hardware/notes/ 4Glar.html
	• [Lightning Arrestor for the Cisco 1240 Connected Grid Router]
	http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/connectedgrid/lightning_arresto r/Lightning_Arrestor_for_the_Cisco_1240_Connected_Grid_Router.html
	• [Cisco 4G Indoor/Outdoor Active GPS Antenna (GPS-ACT-ANTM-SMA)]

## MIB

MIB	MIBのリンク
• IF-MIB	選択したプラットフォーム、Cisco ソフトウェア リリース、およ
CISCO-ENTITY-VENDORTYPE-OID-MIB	びフィーチャ セットの MIB を検索してダウンロードする場合 は、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。
CISCO-WAN-3G-MIB	http://www.cisco.com/go/mibs

## RFC

RFC	タイトル
RFC 3025	モバイル IP のベンダーまたは組織に固有の拡張

## シスコのテクニカル サポート

 説明	リンク
右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サ ポートを最大限に活用してください。これらのリ ソースは、ソフトウェアをインストールして設定 したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技 術的問題を解決したりするために使用してくださ い。この Web サイト上のツールにアクセスする際 は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが 必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

# Cisco 4G LTE の機能情報

表7に、この機能のリリース履歴を示します。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索する には、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator を使用すると、ソフトウェア イメージがサポートする特定のソフトウェア リリース、フィーチャ セット、またはプラット フォームを確認できます。Cisco Feature Navigator には、http://www.cisco.com/go/cfn からアクセス します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

(注)

Γ

表 7は、ソフトウェアリリーストレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェ アリリースでもサポートされます。

I

表 7 Cisco 4G LTE の機能情報

機能名	リリース	機能情報
<b>ISR G2</b> のデュア ル モード LTE のサポート	Cisco IOS Release 15.1(4)M2	Cisco 4G LTE WWAN EHWIC (Verizon Wireless ネットワーク用 EHWIC-4G-LTE-V) は、4G LTE セルラーおよび 3G 携帯電話ネットワークをサポートします。4G-LTE モ バイル仕様では、マルチメガビットの帯域幅、より効率的な無線ネットワークの使 用、遅延の減少、改善されたモビリティが提供されます。
		この機能は、Cisco ISR G2 モジュラ プラットフォームに導入されました。
		次のコマンドが導入または変更されました。
		• cellular <i>slot</i> lte
		• Under controller cellular <i>unit</i> : default lte, lte event, lte radio, lte sim, no lte
<b>ISR G2</b> のデュア ル モード LTE サポートの拡張	Cisco IOS リ リース 15.1(4)M、 15.2(4)M 以降 のリリース	バグ修正次の URL から、『Release Notes for Cisco 4G LTE Wireless WAN EHWIC 1.0』 を参照してください。
		http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/interfaces/Release/Notes/RN_MM4G 3GWAN.pdf
ISR G2 用 Multimode LTE 4G のサポート	Cisco IOS Release 15.2(4)M1	この機能は、Cisco 819HG-4Gと Cisco 819G-4G LTE ISR でサポートされています。
		次の 4G LTE WWAN EHWIC がリリースされました。
		• EHWIC-4G-LTE-A:AT&T ワイヤレス ネットワークに対する専用マルチモード LTE。
		• EHWIC-4G-LTE-G:グローバル ワイヤレス ネットワークに対する専用マルチ モード LTE。
		Multimode LTE EHWIC は、HSPA+、HSPA、UMTS、EDGE、および GPRS と下位互換性があります。この機能は、Cisco ISR G2 モジュラ プラットフォームに導入されました。
4G LTE GPS NMEA、SMS、お よびデュアル SIM のサポート	Cisco IOS Release 15.3(3)M	Cisco 819HG-4G および Cisco 819G-4G LTE ISR および 4G LTE EHWIC MC77xx モ デムは、次の機能をサポートしています。
		<ul> <li>アクティブおよびパッシブ アンテナ ベースのグローバル ポジショニング シ ステム(GPS)。</li> </ul>
		• 4G ショート メッセージ サービス(SMS)機能(SMS メッセージの受信、送信、 アーカイブ、削除)
		• デュアル SIM サポート
		次のコマンドが導入または変更されました。cellular lte profile、cellular lte sms delete、cellular lte sms send、cellular lte sms view、debug cellular messages、debug cellular messages sms、lte failovertimer、lte gps enable、lte gps mode standalone、lte gps nmea、lte sim authenticate、lte sim max-retry、lte sim primary、lte sim profile、lte sms archive path、show cellular gps、show cellular sms。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks.Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.